

【表紙】	
【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年11月19日
【発行者名】	パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白勢 菊夫
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル
【事務連絡者氏名】	小林 徹也
【電話番号】	03（5208）5947
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	パインブリッジ米国REITインカムファンド Aコース（為替ヘッジあり） パインブリッジ米国REITインカムファンド Bコース（為替ヘッジなし）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	各1,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当なし

1. 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2025年5月19日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の記載事項の一部について訂正すべき事項が生じたため、本訂正届出書によりこれを訂正するものです。

2. 【訂正内容】

原届出書の記載事項のうち以下の事項を次の内容に訂正します。下線部__が訂正箇所を示します。

第二部【ファンド情報】**第1【ファンドの状況】****1【ファンドの性格】****（3）【ファンドの仕組み】**

委託会社の概況

[訂正前]

- ・資本金の額 1,000,000,000円（2025年3月末日現在）
（ 略 ）
- ・大株主の状況（2025年3月末日現在）

[訂正後]

- ・資本金の額 1,000,000,000円（2025年9月末日現在）
（ 略 ）
- ・大株主の状況（2025年9月末日現在）

2【投資方針】**（3）【運用体制】**

委託会社の運用体制

[訂正前]

- 4. 当ファンドの運用担当者に係る事項
（ 略 ）

前記の運用体制等は2025年3月末日現在のものであり、今後変更することがあります。

[訂正後]

- 4. 当ファンドの運用担当者に係る事項
（ 略 ）

前記の運用体制等は2025年9月末日現在のものであり、今後変更することがあります。

3【投資リスク】**（2）投資リスクに対する管理体制**

（ 略 ）

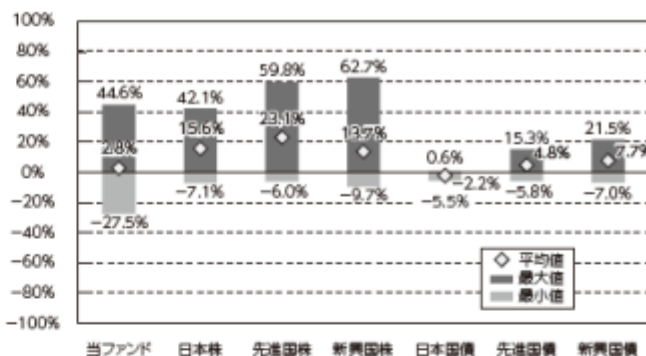
< 参考情報 >

< 参考情報は以下の内容に更新・訂正されます。 >

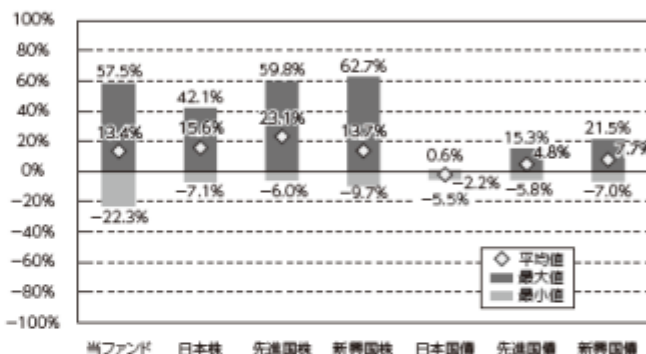
<年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移>

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較>

●Aコース(為替ヘッジあり)



●Bコース(為替ヘッジなし)



※代表的な資産クラスとの騰落率の比較は、2020年10月～2025年9月の5年間の各月末における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したもので、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成しています。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※騰落率は税引前の収益分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率とは異なる場合があります。

●各資産クラスの指数

日本株:東証株価指数(TOPIX)配当込み

先進国株:MSCIコクサイ・インデックス(配当込み・円ベース)

新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円ベース)

日本国債:NOMURA-BPI国債

先進国債:FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債:JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(ヘッジなし・円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数(TOPIX)配当込みは、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社(以下「J P X」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、J P Xが有しています。

MSCIコクサイ・インデックス(配当込み・円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円ベース)は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(ヘッジなし・円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

4【手数料等及び税金】

(5)【課税上の取扱い】

[訂正前]

前記は2025年3月末日現在のものであり、税法が改正された場合等においては、税率等の課税上の取扱いが変更になることがあります。
税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご相談されることをお勧めします。

[訂正後]

前記は2025年9月末日現在のものであり、税法が改正された場合等においては、税率等の課税上の取扱いが変更になることがあります。
税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご相談されることをお勧めします。

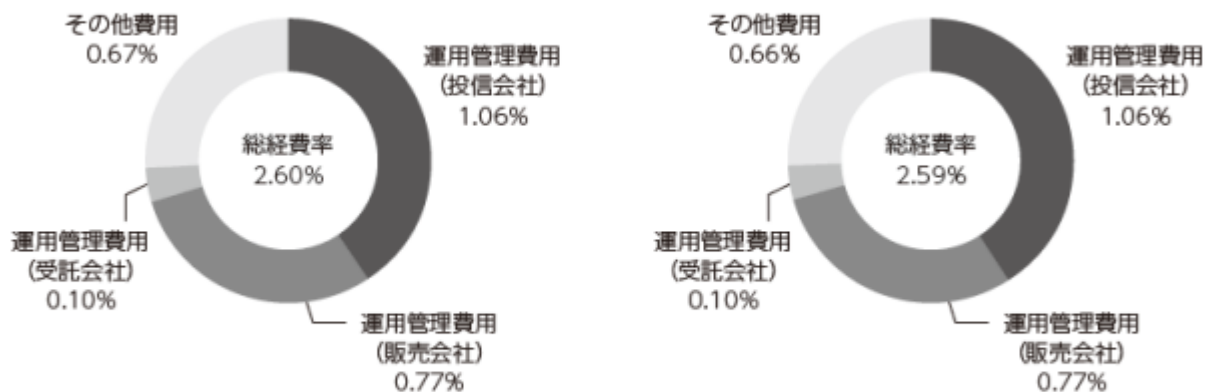
（参考情報）ファンドの総経費率

<（参考情報）ファンドの総経費率は以下の内容に更新・訂正されます。>

直近の運用報告書作成対象期間（2025年2月21日～2025年8月20日）における当ファンドの総経費率は以下の通りです。

●Aコース（為替ヘッジあり）

●Bコース（為替ヘッジなし）



※当期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を期間中の平均受益権口数に平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除しています。

※各比率は、年率換算した値です。

※総経費率については運用報告書にも記載しています。

5【運用状況】

原届出書「第二部 ファンド情報 第1ファンドの状況 5運用状況」について、以下の内容に更新・訂正いたします。

[更新・訂正後]

《1》パインブリッジ米国REITインカムファンドAコース（為替ヘッジあり）**（1）【投資状況】**

（2025年9月30日現在）

資産の種類	国名	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	82,483,308	100.98
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		802,622	0.98
合計（純資産総額）		81,680,686	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価合計の比率です。

（2）【投資資産】**【投資有価証券の主要銘柄】****1．組入上位銘柄（2025年9月30日現在）**

国／地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 （円）	帳簿価額 金額 （円）	評価額 単価 （円）	評価額 金額 （円）	投資 比率 （％）
日本	親投資信託 受益証券	パインブリッジ 米国REIT マザーファンド	10,167,810	8.0385	81,733,940	8.1122	82,483,308	100.98

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類の評価金額の比率です。

2．種類別投資比率（2025年9月30日現在）

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	100.98
合計	100.98

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（3）【運用実績】**【純資産の推移】**

	純資産総額（円）		基準価額（円）	
第24特定期間末 （2016年2月22日）	（分配付）	333,876,292	（分配付）	10,132
	（分配落）	329,897,817	（分配落）	10,012
第25特定期間末 （2016年8月22日）	（分配付）	393,074,138	（分配付）	11,661
	（分配落）	370,177,181	（分配落）	10,961
第26特定期間末 （2017年2月20日）	（分配付）	320,388,136	（分配付）	10,327
	（分配落）	316,426,891	（分配落）	10,207
第27特定期間末	（分配付）	289,947,580	（分配付）	10,028

(2017年8月21日)	(分配落)	286,381,136	(分配落)	9,908
第28特定期間末	(分配付)	244,844,600	(分配付)	9,233
(2018年2月20日)	(分配落)	241,615,730	(分配落)	9,113
第29特定期間末	(分配付)	256,531,405	(分配付)	10,199
(2018年8月20日)	(分配落)	253,415,344	(分配落)	10,079
第30特定期間末	(分配付)	246,453,922	(分配付)	10,124
(2019年2月20日)	(分配落)	243,486,238	(分配落)	10,004
第31特定期間末	(分配付)	255,564,051	(分配付)	10,579
(2019年8月20日)	(分配落)	252,646,841	(分配落)	10,459
第32特定期間末	(分配付)	256,919,558	(分配付)	10,982
(2020年2月20日)	(分配落)	256,919,558	(分配落)	10,862
第33特定期間末	(分配付)	208,127,692	(分配付)	9,016
(2020年8月20日)	(分配落)	205,350,157	(分配落)	8,896
第34特定期間末	(分配付)	217,329,148	(分配付)	9,820
(2021年2月22日)	(分配落)	214,645,613	(分配落)	9,700
第35特定期間末	(分配付)	252,246,263	(分配付)	11,601
(2021年8月20日)	(分配落)	233,807,643	(分配落)	10,751
第36特定期間末	(分配付)	241,097,884	(分配付)	10,833
(2022年2月21日)	(分配落)	220,364,623	(分配落)	9,883
第37特定期間末	(分配付)	215,328,296	(分配付)	9,449
(2022年8月22日)	(分配落)	212,602,403	(分配落)	9,329
第38特定期間末	(分配付)	181,220,090	(分配付)	8,433
(2023年2月20日)	(分配落)	178,593,244	(分配落)	8,313
第39特定期間末	(分配付)	136,516,899	(分配付)	7,496
(2023年8月21日)	(分配落)	134,197,792	(分配落)	7,376
第40特定期間末	(分配付)	113,424,556	(分配付)	7,573
(2024年2月20日)	(分配落)	111,469,095	(分配落)	7,453
第41特定期間末	(分配付)	112,794,030	(分配付)	8,011
(2024年8月20日)	(分配落)	111,095,464	(分配落)	7,891
第42特定期間末	(分配付)	94,890,138	(分配付)	7,800
(2025年2月20日)	(分配落)	93,343,662	(分配落)	7,680
第43特定期間末	(分配付)	82,637,776	(分配付)	7,269
(2025年8月20日)	(分配落)	81,213,547	(分配落)	7,149
2024年 9月末日		114,742,826		8,243
10月末日		105,480,770		8,183
11月末日		106,967,890		8,353
12月末日		96,656,075		7,610
2025年 1月末日		94,835,061		7,612
2月末日		93,886,511		7,722
3月末日		89,230,199		7,393
4月末日		86,782,780		7,183
5月末日		86,916,548		7,300
6月末日		85,199,647		7,149
7月末日		85,557,576		7,207
8月末日		82,760,533		7,281

9月末日	81,680,686	7,261
------	------------	-------

（注1）特定期間末の純資産総額（分配付）および基準価額（分配付）は、当該特定期間末における純資産総額（分配落）および基準価額（分配落）の金額に、当該特定期間中に支払われた収益分配金の累計額を加算した額を表示しております。

（注2）基準価額は10,000口当たりの価額です。

【分配の推移】

期間		1万口当たりの分配金
第24特定期間	自 2015年8月21日	120円
	至 2016年2月22日	
第25特定期間	自 2016年2月23日	700円
	至 2016年8月22日	
第26特定期間	自 2016年8月23日	120円
	至 2017年2月20日	
第27特定期間	自 2017年2月21日	120円
	至 2017年8月21日	
第28特定期間	自 2017年8月22日	120円
	至 2018年2月20日	
第29特定期間	自 2018年2月21日	120円
	至 2018年8月20日	
第30特定期間	自 2018年8月21日	120円
	至 2019年2月20日	
第31特定期間	自 2019年2月21日	120円
	至 2019年8月20日	
第32特定期間	自 2019年8月21日	120円
	至 2020年2月20日	
第33特定期間	自 2020年2月21日	120円
	至 2020年8月20日	
第34特定期間	自 2020年8月21日	120円
	至 2021年2月22日	
第35特定期間	自 2021年2月23日	850円
	至 2021年8月20日	
第36特定期間	自 2021年8月21日	950円
	至 2022年2月21日	
第37特定期間	自 2022年2月22日	120円
	至 2022年8月22日	
第38特定期間	自 2022年8月23日	120円
	至 2023年2月20日	
第39特定期間	自 2023年2月21日	120円
	至 2023年8月21日	
第40特定期間	自 2023年8月22日	120円
	至 2024年2月20日	
第41特定期間	自 2024年2月21日	120円
	至 2024年8月20日	

第42特定期間	自 2024年8月21日	120円
	至 2025年2月20日	
第43特定期間	自 2025年2月21日	120円
	至 2025年8月20日	

【収益率の推移】

期間		収益率
第24特定期間	自 2015年8月21日	4.03%
	至 2016年2月22日	
第25特定期間	自 2016年2月23日	16.47%
	至 2016年8月22日	
第26特定期間	自 2016年8月23日	5.78%
	至 2017年2月20日	
第27特定期間	自 2017年2月21日	1.75%
	至 2017年8月21日	
第28特定期間	自 2017年8月22日	6.81%
	至 2018年2月20日	
第29特定期間	自 2018年2月21日	11.92%
	至 2018年8月20日	
第30特定期間	自 2018年8月21日	0.45%
	至 2019年2月20日	
第31特定期間	自 2019年2月21日	5.75%
	至 2019年8月20日	
第32特定期間	自 2019年8月21日	5.00%
	至 2020年2月20日	
第33特定期間	自 2020年2月21日	17.00%
	至 2020年8月20日	
第34特定期間	自 2020年8月21日	10.39%
	至 2021年2月22日	
第35特定期間	自 2021年2月23日	19.60%
	至 2021年8月20日	
第36特定期間	自 2021年8月21日	0.76%
	至 2022年2月21日	
第37特定期間	自 2022年2月22日	4.39%
	至 2022年8月22日	
第38特定期間	自 2022年8月23日	9.60%
	至 2023年2月20日	
第39特定期間	自 2023年2月21日	9.83%
	至 2023年8月21日	
第40特定期間	自 2023年8月22日	2.67%
	至 2024年2月20日	
第41特定期間	自 2024年2月21日	7.49%
	至 2024年8月20日	
第42特定期間	自 2024年8月21日	1.15%
	至 2025年2月20日	

第43特定期間	自 2025年2月21日	5.35%
	至 2025年8月20日	

（注）収益率は以下の計算式により算出しております。

$$\text{収益率} = \left(\frac{\text{当特定期間末分配落基準価額} + \text{当特定期間中分配金累計額} - \text{前特定期間末分配落基準価額}}{\text{前特定期間末分配落基準価額}} \right) \times 100$$

（４）【設定及び解約の実績】

期 間		設定口数	解約口数
第24特定期間	自 2015年8月21日	6,839,001	17,140,777
	至 2016年2月22日		
第25特定期間	自 2016年2月23日	30,411,152	22,192,451
	至 2016年8月22日		
第26特定期間	自 2016年8月23日	19,361,669	47,061,518
	至 2017年2月20日		
第27特定期間	自 2017年2月21日	4,302,001	25,283,635
	至 2017年8月21日		
第28特定期間	自 2017年8月22日	10,602,779	34,512,258
	至 2018年2月20日		
第29特定期間	自 2018年2月21日	4,399,200	18,089,683
	至 2018年8月20日		
第30特定期間	自 2018年8月21日	1,994,945	10,036,830
	至 2019年2月20日		
第31特定期間	自 2019年2月21日	3,703,065	5,540,019
	至 2019年8月20日		
第32特定期間	自 2019年8月21日	5,161,547	10,193,310
	至 2020年2月20日		
第33特定期間	自 2020年2月21日	2,391,539	8,086,454
	至 2020年8月20日		
第34特定期間	自 2020年8月21日	2,169,898	11,701,115
	至 2021年2月22日		
第35特定期間	自 2021年2月23日	12,320,751	16,148,443
	至 2021年8月20日		
第36特定期間	自 2021年8月21日	29,579,298	24,070,544
	至 2022年2月21日		
第37特定期間	自 2022年2月22日	7,178,430	2,254,244
	至 2022年8月22日		
第38特定期間	自 2022年8月23日	2,576,050	15,631,704
	至 2023年2月20日		
第39特定期間	自 2023年2月21日	4,935,123	37,838,701
	至 2023年8月21日		
第40特定期間	自 2023年8月22日	6,709,718	39,092,543
	至 2024年2月20日		
第41特定期間	自 2024年2月21日	1,804,701	10,582,053
	至 2024年8月20日		

第42特定期間	自 2024年8月21日	6,082,285	25,322,379
	至 2025年2月20日		
第43特定期間	自 2025年2月21日	828,044	8,774,638
	至 2025年8月20日		

（注）上記はすべて本邦内における設定、解約の実績口数です。

《 2 》パインブリッジ米国REITインカムファンドBコース（為替ヘッジなし）

（ 1 ）投資状況

（ 2025年9月30日現在 ）

資産の種類	国名	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	339,196,602	99.22
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		2,673,304	0.78
合計（純資産総額）		341,869,906	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価合計の比率です。

（ 2 ）投資資産

投資有価証券の主要銘柄

1．組入上位銘柄（2025年9月30日現在）

国／地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 （円）	帳簿価額 金額 （円）	評価額 単価 （円）	評価額 金額 （円）	投資 比率 （％）
日本	親投資信託 受益証券	パインブリッジ 米国REIT マザーファンド	41,813,146	8.0385	336,114,975	8.1122	339,196,602	99.22

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類の評価金額の比率です。

2．種類別投資比率（2025年9月30日現在）

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.22
合計	99.22

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

（ 3 ）運用実績

純資産の推移

	純資産総額（円）		基準価額（円）	
第24特定期間末 （2016年2月22日）	（分配付）	809,265,182	（分配付）	8,617
	（分配落）	792,025,863	（分配落）	8,437
第25特定期間末 （2016年8月22日）	（分配付）	825,074,350	（分配付）	8,924
	（分配落）	808,336,436	（分配落）	8,744
第26特定期間末 （2017年2月20日）	（分配付）	766,903,875	（分配付）	9,315
	（分配落）	751,087,993	（分配落）	9,135
第27特定期間末 （2017年8月21日）	（分配付）	670,990,263	（分配付）	8,797
	（分配落）	656,643,542	（分配落）	8,617
第28特定期間末 （2018年2月20日）	（分配付）	562,780,183	（分配付）	7,922
	（分配落）	549,663,203	（分配落）	7,742
第29特定期間末	（分配付）	630,838,153	（分配付）	9,069

(2018年8月20日)	(分配落)	618,153,829	(分配落)	8,889
第30特定期間末	(分配付)	587,134,103	(分配付)	9,091
(2019年2月20日)	(分配落)	575,015,654	(分配落)	8,911
第31特定期間末	(分配付)	565,385,240	(分配付)	9,224
(2019年8月20日)	(分配落)	554,195,152	(分配落)	9,044
第32特定期間末	(分配付)	579,288,464	(分配付)	10,035
(2020年2月20日)	(分配落)	568,523,189	(分配落)	9,855
第33特定期間末	(分配付)	441,107,558	(分配付)	7,731
(2020年8月20日)	(分配落)	430,800,368	(分配落)	7,551
第34特定期間末	(分配付)	440,998,536	(分配付)	8,312
(2021年2月22日)	(分配落)	431,047,548	(分配落)	8,132
第35特定期間末	(分配付)	510,390,206	(分配付)	10,142
(2021年8月20日)	(分配落)	501,197,770	(分配落)	9,962
第36特定期間末	(分配付)	522,237,827	(分配付)	10,483
(2022年2月21日)	(分配落)	499,791,108	(分配落)	10,033
第37特定期間末	(分配付)	569,743,442	(分配付)	11,608
(2022年8月22日)	(分配落)	560,744,144	(分配落)	11,428
第38特定期間末	(分配付)	482,792,777	(分配付)	10,385
(2023年2月20日)	(分配落)	474,247,460	(分配落)	10,205
第39特定期間末	(分配付)	424,968,062	(分配付)	10,226
(2023年8月21日)	(分配落)	417,016,267	(分配落)	10,046
第40特定期間末	(分配付)	423,908,951	(分配付)	11,027
(2024年2月20日)	(分配落)	416,817,013	(分配落)	10,847
第41特定期間末	(分配付)	409,848,798	(分配付)	11,717
(2024年8月20日)	(分配落)	382,620,159	(分配落)	10,967
第42特定期間末	(分配付)	395,502,034	(分配付)	11,542
(2025年2月20日)	(分配落)	385,003,726	(分配落)	11,242
第43特定期間末	(分配付)	345,253,089	(分配付)	10,615
(2025年8月20日)	(分配落)	339,326,555	(分配落)	10,435
2024年 9月末日		392,279,680		11,254
10月末日		427,585,210		12,083
11月末日		428,716,447		12,154
12月末日		406,507,203		11,554
2025年 1月末日		388,777,735		11,349
2月末日		377,145,183		11,210
3月末日		356,844,166		10,746
4月末日		330,938,037		9,998
5月末日		339,489,822		10,285
6月末日		333,518,073		10,170
7月末日		347,720,185		10,613
8月末日		343,403,434		10,583
9月末日		341,869,906		10,733

（注1）特定期間末の純資産総額（分配付）および基準価額（分配付）は、当該特定期間末における純資産総額（分配落）および基準価額（分配落）の金額に、当該特定期間中に支払われた収益分配金の累計額を加算した額を表示しております。

（注2）基準価額は10,000口当たりの価額です。

分配の推移

期間		1万口当たりの分配金
第24特定期間	自 2015年8月21日	180円
	至 2016年2月22日	
第25特定期間	自 2016年2月23日	180円
	至 2016年8月22日	
第26特定期間	自 2016年8月23日	180円
	至 2017年2月20日	
第27特定期間	自 2017年2月21日	180円
	至 2017年8月21日	
第28特定期間	自 2017年8月22日	180円
	至 2018年2月20日	
第29特定期間	自 2018年2月21日	180円
	至 2018年8月20日	
第30特定期間	自 2018年8月21日	180円
	至 2019年2月20日	
第31特定期間	自 2019年2月21日	180円
	至 2019年8月20日	
第32特定期間	自 2019年8月21日	180円
	至 2020年2月20日	
第33特定期間	自 2020年2月21日	180円
	至 2020年8月20日	
第34特定期間	自 2020年8月21日	180円
	至 2021年2月22日	
第35特定期間	自 2021年2月23日	180円
	至 2021年8月20日	
第36特定期間	自 2021年8月21日	450円
	至 2022年2月21日	
第37特定期間	自 2022年2月22日	180円
	至 2022年8月22日	
第38特定期間	自 2022年8月23日	180円
	至 2023年2月20日	
第39特定期間	自 2023年2月21日	180円
	至 2023年8月21日	
第40特定期間	自 2023年8月22日	180円
	至 2024年2月20日	
第41特定期間	自 2024年2月21日	750円
	至 2024年8月20日	
第42特定期間	自 2024年8月21日	300円
	至 2025年2月20日	
第43特定期間	自 2025年2月21日	180円
	至 2025年8月20日	

収益率の推移

期間		収益率
第24特定期間	自 2015年8月21日	12.05%
	至 2016年2月22日	
第25特定期間	自 2016年2月23日	5.77%
	至 2016年8月22日	
第26特定期間	自 2016年8月23日	6.53%
	至 2017年2月20日	
第27特定期間	自 2017年2月21日	3.70%
	至 2017年8月21日	
第28特定期間	自 2017年8月22日	8.07%
	至 2018年2月20日	
第29特定期間	自 2018年2月21日	17.14%
	至 2018年8月20日	
第30特定期間	自 2018年8月21日	2.27%
	至 2019年2月20日	
第31特定期間	自 2019年2月21日	3.51%
	至 2019年8月20日	
第32特定期間	自 2019年8月21日	10.96%
	至 2020年2月20日	
第33特定期間	自 2020年2月21日	21.55%
	至 2020年8月20日	
第34特定期間	自 2020年8月21日	10.08%
	至 2021年2月22日	
第35特定期間	自 2021年2月23日	24.72%
	至 2021年8月20日	
第36特定期間	自 2021年8月21日	5.23%
	至 2022年2月21日	
第37特定期間	自 2022年2月22日	15.70%
	至 2022年8月22日	
第38特定期間	自 2022年8月23日	9.13%
	至 2023年2月20日	
第39特定期間	自 2023年2月21日	0.21%
	至 2023年8月21日	
第40特定期間	自 2023年8月22日	9.77%
	至 2024年2月20日	
第41特定期間	自 2024年2月21日	8.02%
	至 2024年8月20日	
第42特定期間	自 2024年8月21日	5.24%
	至 2025年2月20日	
第43特定期間	自 2025年2月21日	5.58%
	至 2025年8月20日	

（注）収益率は以下の計算式により算出しております。

$$\text{収益率} = (\text{当特定期間末分配落基準価額} + \text{当特定期間中分配金累計額} - \text{前特定期間末分配落基準価額}) \div \text{前特定期間末分配落基準価額} \times 100$$

(4) 設定及び解約の実績

期 間		設定口数	解約口数
第24特定期間	自 2015年8月21日	30,373,418	90,740,101
	至 2016年2月22日		
第25特定期間	自 2016年2月23日	32,824,188	47,036,247
	至 2016年8月22日		
第26特定期間	自 2016年8月23日	21,535,967	123,833,416
	至 2017年2月20日		
第27特定期間	自 2017年2月21日	15,306,641	75,475,505
	至 2017年8月21日		
第28特定期間	自 2017年8月22日	14,580,055	66,605,391
	至 2018年2月20日		
第29特定期間	自 2018年2月21日	18,453,295	33,075,908
	至 2018年8月20日		
第30特定期間	自 2018年8月21日	8,567,543	58,676,213
	至 2019年2月20日		
第31特定期間	自 2019年2月21日	10,712,481	43,221,593
	至 2019年8月20日		
第32特定期間	自 2019年8月21日	17,091,706	52,940,399
	至 2020年2月20日		
第33特定期間	自 2020年2月21日	13,547,286	19,967,927
	至 2020年8月20日		
第34特定期間	自 2020年8月21日	18,012,742	58,424,254
	至 2021年2月22日		
第35特定期間	自 2021年2月23日	20,400,726	47,376,786
	至 2021年8月20日		
第36特定期間	自 2021年8月21日	31,366,184	36,314,837
	至 2022年2月21日		
第37特定期間	自 2022年2月22日	22,305,361	29,781,032
	至 2022年8月22日		
第38特定期間	自 2022年8月23日	7,362,042	33,326,613
	至 2023年2月20日		
第39特定期間	自 2023年2月21日	8,369,592	57,965,193
	至 2023年8月21日		
第40特定期間	自 2023年8月22日	5,900,079	36,751,824
	至 2024年2月20日		
第41特定期間	自 2024年2月21日	16,662,882	52,062,337
	至 2024年8月20日		
第42特定期間	自 2024年8月21日	11,973,200	18,386,449
	至 2025年2月20日		
第43特定期間	自 2025年2月21日	5,366,501	22,654,812
	至 2025年8月20日		

(注) 上記はすべて本邦内における設定、解約の実績口数です。

（ご参考）パインブリッジ米国REITマザーファンド

（１）投資状況

（2025年9月30日現在）

資産の種類	国名	時価合計（円）	投資比率（％）
投資証券	アメリカ	416,146,609	98.69
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		5,532,966	1.31
合計（純資産総額）		421,679,575	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価合計の比率です。

（２）投資資産

投資有価証券の主要銘柄

１．組入上位30銘柄（2025年9月30日現在）

国／ 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿価額 単価 （円）	帳簿価額 金額 （円）	評価額 単価 （円）	評価額 金額 （円）	投資 比率 （％）
アメリカ	投資証券	WELLTOWER INC	1,440	24,352.30	35,067,315	26,232.65	37,775,025	8.96
アメリカ	投資証券	EQUINIX INC	270	115,152.72	31,091,236	116,382.47	31,423,268	7.45
アメリカ	投資証券	PROLOGIS INC	1,790	16,489.94	29,517,009	17,008.05	30,444,412	7.22
アメリカ	投資証券	DIGITAL REALTY TRUST INC	890	24,798.94	22,071,058	25,325.97	22,540,119	5.35
アメリカ	投資証券	VENTAS INC	1,800	10,117.88	18,212,193	10,302.49	18,544,493	4.40
アメリカ	投資証券	EXTRA SPACE STORAGE INC	810	20,782.15	16,833,549	21,059.07	17,057,852	4.05
アメリカ	投資証券	PUBLIC STORAGE	330	42,780.66	14,117,620	42,956.34	14,175,594	3.36
アメリカ	投資証券	SIMON PROPERTY GROUP INC	510	26,036.13	13,278,428	27,669.34	14,111,367	3.35
アメリカ	投資証券	UDR INC	2,450	5,786.96	14,178,066	5,499.62	13,474,087	3.20
アメリカ	投資証券	REALTY INCOME CORP	1,470	8,785.40	12,914,550	9,014.68	13,251,585	3.14
アメリカ	投資証券	HEALTHPEAK PROPERTIES INC	4,300	2,565.20	11,030,371	2,830.20	12,169,898	2.89
アメリカ	投資証券	CAMDEN PROPERTY TRUST	750	16,120.72	12,090,545	15,863.16	11,897,373	2.82
アメリカ	投資証券	KIMCO REALTY CORP	3,440	3,230.69	11,113,594	3,226.22	11,098,230	2.63
アメリカ	投資証券	IRON MOUNTAIN INC	730	13,619.54	9,942,266	14,940.10	10,906,279	2.59
アメリカ	投資証券	BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	2,550	4,021.24	10,254,184	4,085.26	10,417,431	2.47
アメリカ	投資証券	AGREE REALTY CORP	840	10,939.70	9,189,350	10,500.50	8,820,425	2.09
アメリカ	投資証券	HOST HOTELS AND RESORTS INC	3,220	2,401.43	7,732,618	2,594.97	8,355,830	1.98
アメリカ	投資証券	EQUITY RESIDENTIAL	850	9,593.82	8,154,753	9,546.18	8,114,258	1.92
アメリカ	投資証券	VICI PROPERTIES INC	1,610	4,834.13	7,782,955	4,847.53	7,804,528	1.85
アメリカ	投資証券	INVITATION HOMES INC	1,710	4,540.84	7,764,837	4,323.47	7,393,143	1.75
アメリカ	投資証券	OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	1,150	6,144.27	7,065,920	6,185.96	7,113,859	1.69
アメリカ	投資証券	KITE REALTY GROUP TRUST	2,140	3,299.18	7,060,246	3,279.82	7,018,828	1.66
アメリカ	投資証券	COUSINS PROPERTIES INC	1,560	4,159.70	6,489,143	4,207.34	6,563,464	1.56
アメリカ	投資証券	AMERICAN HOMES 4 RENT- A	1,300	5,207.82	6,770,169	4,834.13	6,284,374	1.49
アメリカ	投資証券	VORNADO REALTY TRUST	990	5,527.91	5,472,636	6,013.26	5,953,131	1.41
アメリカ	投資証券	BXP INC	520	9,955.60	5,176,915	11,221.08	5,834,965	1.38
アメリカ	投資証券	ESSEX PROPERTY TRUST INC	145	39,022.73	5,658,296	39,634.83	5,747,051	1.36
アメリカ	投資証券	FEDERAL REALTY INVS TRUST	385	14,396.69	5,542,728	14,876.08	5,727,294	1.36
アメリカ	投資証券	AMERICAN HEALTHCARE REIT INC	870	6,084.72	5,293,711	6,221.69	5,412,875	1.28

アメリカ	投資証券	REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	820	5,873.31	4,816,119	6,184.47	5,071,270	1.20
------	------	-------------------------------	-----	----------	-----------	----------	-----------	------

（注1）投資比率は、マザーファンドの純資産総額に対する各銘柄の評価金額の比率です。

（注2）上記の各金額は、基準日における対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しております。

2．種類別投資比率（2025年9月30日現在）

種 類	投資比率（％）
投資証券	98.69
合 計	98.69

（注）投資比率は、マザーファンドの純資産総額に対する当該種類の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

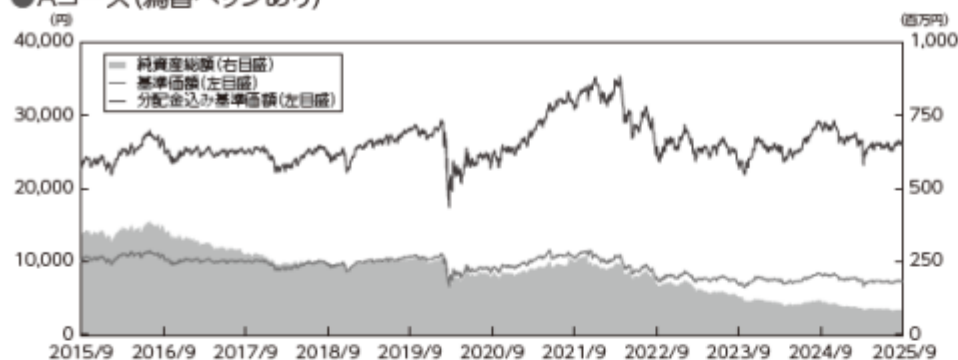
該当事項はありません。

参考情報

基準価額・純資産の推移

(過去10年間／2015年9月末～2025年9月末)

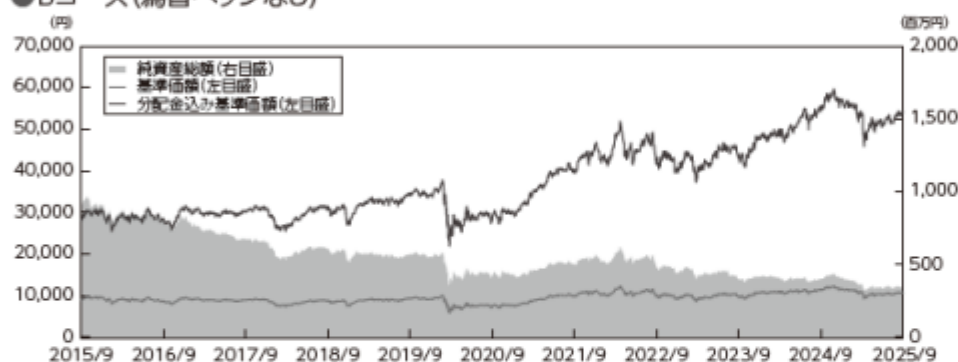
●Aコース(為替ヘッジあり)



(2025年9月末現在)

基準価額	7,261円
純資産総額	81百万円

●Bコース(為替ヘッジなし)



(2025年9月末現在)

基準価額	10,733円
純資産総額	341百万円

※上記の分配金込み基準価額は、過去に支払われた分配金を非課税で再投資したものと計算しています。

分配の推移

(1万口あたり、課税前)

●Aコース(為替ヘッジあり)

2025年 9月	20円	2025年 3月	20円
2025年 8月	20円	2025年 2月	20円
2025年 7月	20円	2025年 1月	20円
2025年 6月	20円	2024年12月	20円
2025年 5月	20円	2024年11月	20円
2025年 4月	20円	2024年10月	20円

直近1年間累計	240円
設定来累計	12,910円

●Bコース(為替ヘッジなし)

2025年 9月	30円	2025年 3月	30円
2025年 8月	30円	2025年 2月	30円
2025年 7月	30円	2025年 1月	30円
2025年 6月	30円	2024年12月	150円
2025年 5月	30円	2024年11月	30円
2025年 4月	30円	2024年10月	30円

直近1年間累計	480円
設定来累計	14,620円

主要な資産の状況

(2025年9月末現在)

●Aコース(為替ヘッジあり)

パインブリッジ米国REITマザーファンド	100.98%
キャッシュ等	△0.98%

●Bコース(為替ヘッジなし)

パインブリッジ米国REITマザーファンド	99.22%
キャッシュ等	0.78%

●パインブリッジ米国REITマザーファンドの主要な資産の状況

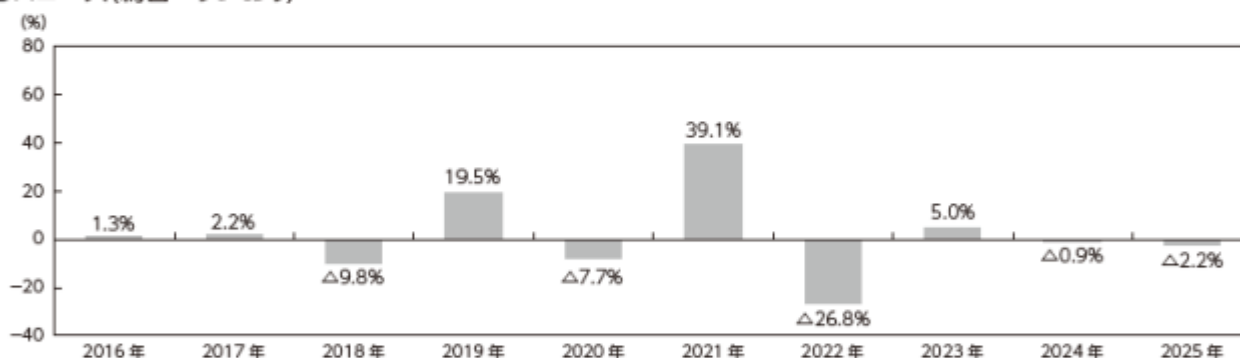
国名	銘柄名	投資比率(%)
アメリカ	WELLTOWER INC	8.96
アメリカ	EQUINIX INC	7.45
アメリカ	PROLOGIS INC	7.22
アメリカ	DIGITAL REALTY TRUST INC	5.35
アメリカ	VENTAS INC	4.40
アメリカ	EXTRA SPACE STORAGE INC	4.05
アメリカ	PUBLIC STORAGE	3.36
アメリカ	SIMON PROPERTY GROUP INC	3.35
アメリカ	UDR INC	3.20
アメリカ	REALTY INCOME CORP	3.14

※投資比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

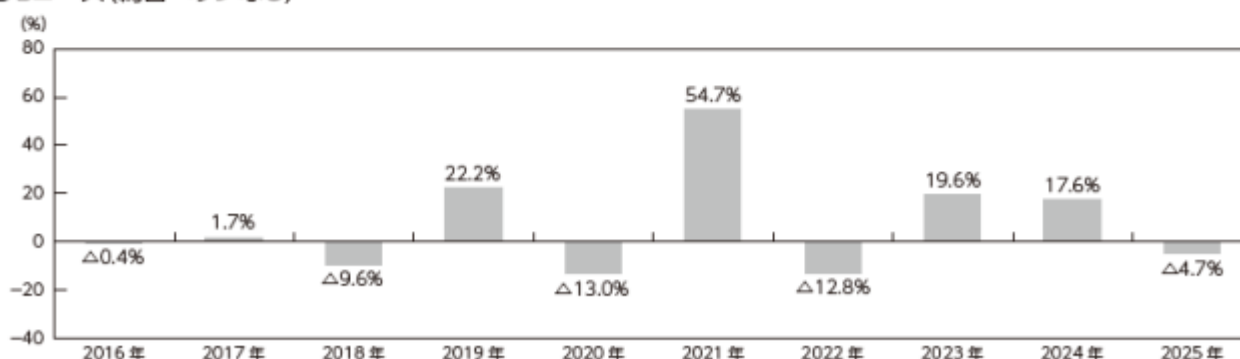
年間収益率の推移

(過去10年間/暦年ベース)

●Aコース(為替ヘッジあり)



●Bコース(為替ヘッジなし)



※ファンドの収益率は、分配金込み基準価額を基に算出しています。また、2025年は年初から9月末までの騰落率を表示しています。なお、当ファンドにはベンチマークはありません。

上記は過去の実績であり、将来の投資成果等をお約束するものではありません。
最新の運用状況は、委託会社または販売会社のホームページ等でご確認いただけます。

第3【ファンドの経理状況】

原届出書「第二部ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」について、以下の内容に更新・訂正いたします。

[更新・訂正後]

- (1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づき作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2)当ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。

- (3)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第43特定期間（2025年2月21日から2025年8月20日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【パインブリッジ米国REITインカムファンド Aコース（為替ヘッジあり）】

(1)【貸借対照表】

区分	注記 事項	第42特定期間 (2025年2月20日現在)	第43特定期間 (2025年8月20日現在)
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		1,474,584	1,058,957
親投資信託受益証券		91,103,527	79,797,989
派生商品評価勘定		1,163,302	302,924
未収入金		-	1,021,031
未収利息		18	13
流動資産合計		93,741,431	82,180,914
資産合計		93,741,431	82,180,914
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		736	-
未払収益分配金		243,081	227,188
未払解約金		24	612,196
未払受託者報酬		7,918	6,580
未払委託者報酬		146,010	121,403
流動負債合計		397,769	967,367
負債合計		397,769	967,367
純資産の部			
元本等			
元本		121,540,758	113,594,164
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		28,197,096	32,380,617
（分配準備積立金）		4,090,911	3,297,065
元本等合計		93,343,662	81,213,547
純資産合計		93,343,662	81,213,547
負債純資産合計		93,741,431	82,180,914

(2)【損益及び剰余金計算書】

区分	注記 事項	第42特定期間 自 2024年8月21日 至 2025年2月20日	第43特定期間 自 2025年2月21日 至 2025年8月20日
		金額（円）	金額（円）
営業収益			
受取利息		1,312	2,182
有価証券売買等損益		7,127,349	4,505,538
為替差損益		7,036,257	335,810
営業収益合計		92,404	4,167,546
営業費用			
受託者報酬		51,877	42,711
委託者報酬		956,799	787,845
その他費用		-	5,940
営業費用合計		1,008,676	836,496
営業利益又は営業損失（ ）		916,272	5,004,042
経常利益又は経常損失（ ）		916,272	5,004,042
当期純利益又は当期純損失（ ）		916,272	5,004,042
一部解約に伴う当期純利益金額の分配 額又は一部解約に伴う当期純損失金額 の分配額（ ）		19,031	51,764
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		29,685,388	28,197,096
剰余金増加額又は欠損金減少額		5,060,087	2,416,069
当期一部解約に伴う剰余金増加額又 は欠損金減少額		5,060,087	2,416,069
剰余金減少額又は欠損金増加額		1,128,078	223,083
当期追加信託に伴う剰余金減少額又 は欠損金増加額		1,128,078	223,083
分配金		1,546,476	1,424,229
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		28,197,096	32,380,617

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、我が国における特定期間末日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第42特定期間 (2025年2月20日現在)	第43特定期間 (2025年8月20日現在)
1. 期首元本額	140,780,852円	121,540,758円
期中追加設定元本額	6,082,285円	828,044円
期中一部解約元本額	25,322,379円	8,774,638円
2. 受益権の総数	121,540,758口	113,594,164口
3. 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は28,197,096円であります。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は32,380,617円であります。

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	第42特定期間	第43特定期間
	自 2024年8月21日 至 2025年2月20日	自 2025年2月21日 至 2025年8月20日
1. 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託する場合における当該委託に要する費用	261,062円	212,018円
2. 分配金の計算過程	[2024年8月21日から 2024年9月20日まで の計算期間]	[2025年2月21日から 2025年3月21日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	349,857円	231,648円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	0円	0円
収益調整金額	21,115,002円	18,458,888円
分配準備積立金額	5,153,897円	4,055,582円
当ファンドの分配対象収益額	26,618,756円	22,746,118円
当ファンドの期末残存口数	138,484,887口	120,606,639口
1万口当たり収益分配対象額	1,922.14円	1,885.97円
1万口当たり分配金額	20.00円	20.00円
収益分配金金額	276,969円	241,213円
	[2024年 9月21日から 2024年10月21日まで の計算期間]	[2025年3月22日から 2025年4月21日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	239,260円	196,225円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	0円	0円
収益調整金額	20,333,807円	18,481,385円
分配準備積立金額	4,995,951円	4,045,902円
当ファンドの分配対象収益額	25,569,018円	22,723,512円
当ファンドの期末残存口数	133,161,044口	120,726,029口
1万口当たり収益分配対象額	1,920.15円	1,882.23円
1万口当たり分配金額	20.00円	20.00円
収益分配金金額	266,322円	241,452円
	[2024年10月22日から 2024年11月20日まで の計算期間]	[2025年4月22日から 2025年5月20日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	0円	120,373円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	0円	0円
収益調整金額	19,556,495円	18,216,226円
分配準備積立金額	4,764,245円	3,938,086円
当ファンドの分配対象収益額	24,320,740円	22,274,685円
当ファンドの期末残存口数	127,993,379口	118,965,846口
1万口当たり収益分配対象額	1,900.15円	1,872.35円
1万口当たり分配金額	20.00円	20.00円
収益分配金金額	255,986円	237,931円

	[2024年11月21日から 2024年12月20日まで の計算期間]	[2025年5月21日から 2025年6月20日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	194,012円	172,061円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	0円	0円
収益調整金額	19,450,706円	18,238,033円
分配準備積立金額	4,465,058円	3,819,733円
当ファンドの分配対象収益額	24,109,776円	22,229,827円
当ファンドの期末残存口数	127,195,774口	119,078,702口
1万口当たり収益分配対象額	1,895.48円	1,866.81円
1万口当たり分配金額	20.00円	20.00円
収益分配金金額	254,391円	238,157円
	[2024年12月21日から 2025年 1月20日まで の計算期間]	[2025年6月21日から 2025年7月22日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	320,031円	189,095円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	0円	0円
収益調整金額	19,102,388円	18,253,594円
分配準備積立金額	4,315,726円	3,750,344円
当ファンドの分配対象収益額	23,738,145円	22,193,033円
当ファンドの期末残存口数	124,863,713口	119,144,050口
1万口当たり収益分配対象額	1,901.12円	1,862.70円
1万口当たり分配金額	20.00円	20.00円
収益分配金金額	249,727円	238,288円
	[2025年1月21日から 2025年2月20日まで の計算期間]	[2025年7月23日から 2025年8月20日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	68,484円	0円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	0円	0円
収益調整金額	18,597,820円	17,407,803円
分配準備積立金額	4,265,508円	3,524,253円
当ファンドの分配対象収益額	22,931,812円	20,932,056円
当ファンドの期末残存口数	121,540,758口	113,594,164口
1万口当たり収益分配対象額	1,886.75円	1,842.70円
1万口当たり分配金額	20.00円	20.00円
収益分配金金額	243,081円	227,188円

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

項目	第42特定期間 自 2024年8月21日 至 2025年2月20日	第43特定期間 自 2025年2月21日 至 2025年8月20日
----	---	---

1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、投資信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対する投資として運用することを目的としています。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する主な金融資産は、親投資信託受益証券、金銭債権及びデリバティブ取引により生じる正味の債権等であり、金融負債は、金銭債務及びデリバティブ取引により生じる正味の債務等であります。当該金融商品は、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスク及び流動性リスクがあります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<ul style="list-style-type: none">・運用業務部において運用実績の分析・評価を行い、運用評価委員会に上程します。・法務コンプライアンス部において運用業務の考査および諸法令等の遵守状況に関する監理を行い、必要に応じて指導、勧告を行うとともに、内部統制委員会に報告します。・運用評価委員会および内部統制委員会において、パフォーマンス評価と法令等の遵守状況の審査が行われます。	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	第42特定期間 (2025年2月20日現在)	第43特定期間 (2025年8月20日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありませ	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、「（デリバティブ取引等に関する注記）」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。	同左
4. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額	貸借対照表に計上している金銭債権は、その全額が1年以内に償還されます。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	第42特定期間 (2025年2月20日現在)	第43特定期間 (2025年8月20日現在)
	最終の計算期間の損益 に含まれた評価差額	最終の計算期間の損益 に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	561,855	29,485
合計	561,855	29,485

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

区分	種類	第42特定期間（2025年2月20日現在）			
		契約額等 （円）	うち1年超 （円）	時価 （円）	評価損益 （円）
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米国ドル	91,405,030	-	90,242,464	1,162,566
合計		91,405,030	-	90,242,464	1,162,566

区分	種類	第43特定期間（2025年8月20日現在）			
		契約額等 （円）	うち1年超 （円）	時価 （円）	評価損益 （円）
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米国ドル	77,750,690	-	77,447,766	302,924
合計		77,750,690	-	77,447,766	302,924

(注)時価の算定方法

1. 特定期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しています。

特定期間末日において為替予約の受渡日（以下「当該日」という）の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しています。

特定期間末日において当該日の対顧客先物売買相場が発表されていない場合は、以下の方法によっています。

- ・ 特定期間末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いています。
- ・ 特定期間末日に当該日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いています。

2. 特定期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、特定期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しています。
3. 換算において円未満の端数は切り捨てています。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報に関する注記）

項目	第42特定期間 (2025年2月20日現在)	第43特定期間 (2025年8月20日現在)
1口当たり純資産額	0.7680円	0.7149円
(1万口当たり純資産額)	(7,680円)	(7,149円)

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表（2025年8月20日現在）

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
日本円	親投資信託 受益証券	パインブリッジ米国REITマザーファンド	10,167,810	79,797,989	
合計			10,167,810	79,797,989	

(注)親投資信託受益証券における券面総額の数値は証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「(3)注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。

【パインブリッジ米国REITインカムファンド Bコース（為替ヘッジなし）】

(1) 【貸借対照表】

区分	注記 事項	第42特定期間 (2025年2月20日現在)	第43特定期間 (2025年8月20日現在)
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		2,317,830	2,071,773
親投資信託受益証券		384,376,636	338,761,376
未収利息		28	25
流動資産合計		386,694,494	340,833,174
資産合計		386,694,494	340,833,174
負債の部			
流動負債			
未払収益分配金		1,027,375	975,510
未払解約金		26,107	9,274
未払受託者報酬		32,775	26,837
未払委託者報酬		604,511	494,998
流動負債合計		1,690,768	1,506,619
負債合計		1,690,768	1,506,619
純資産の部			
元本等			
元本		342,458,445	325,170,134
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		42,545,281	14,156,421
（分配準備積立金）		104,842,340	96,080,024
元本等合計		385,003,726	339,326,555
純資産合計		385,003,726	339,326,555
負債純資産合計		386,694,494	340,833,174

(2)【損益及び剰余金計算書】

区分	注記 事項	第42特定期間 自 2024年8月21日 至 2025年2月20日	第43特定期間 自 2025年2月21日 至 2025年8月20日
		金額（円）	金額（円）
営業収益			
受取利息		2,996	3,625
有価証券売買等損益		23,914,992	17,915,260
営業収益合計		23,917,988	17,911,635
営業費用			
受託者報酬		201,605	169,072
委託者報酬		3,718,450	3,118,278
営業費用合計		3,920,055	3,287,350
営業利益又は営業損失（ ）		19,997,933	21,198,985
経常利益又は経常損失（ ）		19,997,933	21,198,985
当期純利益又は当期純損失（ ）		19,997,933	21,198,985
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		162,402	443,146
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		33,748,465	42,545,281
剰余金増加額又は欠損金減少額		2,134,827	254,536
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-	4,776
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		2,134,827	249,760
剰余金減少額又は欠損金増加額		2,675,234	1,961,023
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		2,675,234	1,961,023
分配金		10,498,308	5,926,534
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		42,545,281	14,156,421

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第42特定期間 (2025年2月20日現在)	第43特定期間 (2025年8月20日現在)
1.期首元本額	348,871,694円	342,458,445円
期中追加設定元本額	11,973,200円	5,366,501円
期中一部解約元本額	18,386,449円	22,654,812円
2.受益権の総数	342,458,445口	325,170,134口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	第42特定期間	第43特定期間
	自 2024年8月21日 至 2025年2月20日	自 2025年2月21日 至 2025年8月20日
1. 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託する場合における当該委託に要する費用	1,009,331円	846,647円
2. 分配金の計算過程	[2024年8月21日から 2024年9月20日まで の計算期間]	[2025年2月21日から 2025年3月21日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	1,211,030円	927,571円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	0円	0円
収益調整金額	53,466,678円	54,503,015円
分配準備積立金額	88,633,653円	101,575,188円
当ファンドの分配対象収益額	143,311,361円	157,005,774円
当ファンドの期末残存口数	348,347,236口	332,381,519口
1万口当たり収益分配対象額	4,114.03円	4,723.66円
1万口当たり分配金額	30.00円	30.00円
収益分配金金額	1,045,041円	997,144円
	[2024年 9月21日から 2024年10月21日まで の計算期間]	[2025年3月22日から 2025年4月21日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	1,396,800円	772,721円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	18,981,049円	0円
収益調整金額	53,567,152円	54,510,480円
分配準備積立金額	88,647,591円	100,815,092円
当ファンドの分配対象収益額	162,592,592円	156,098,293円
当ファンドの期末残存口数	348,218,682口	330,921,912口
1万口当たり収益分配対象額	4,669.26円	4,717.07円
1万口当たり分配金額	30.00円	30.00円
収益分配金金額	1,044,656円	992,765円
	[2024年10月22日から 2024年11月20日まで の計算期間]	[2025年4月22日から 2025年5月20日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	607,327円	485,566円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	7,854,384円	0円
収益調整金額	56,876,238円	54,736,497円
分配準備積立金額	107,539,238円	100,529,632円
当ファンドの分配対象収益額	172,877,187円	155,751,695円
当ファンドの期末残存口数	354,393,821口	331,263,685口
1万口当たり収益分配対象額	4,878.10円	4,701.74円
1万口当たり分配金額	30.00円	30.00円
収益分配金金額	1,063,181円	993,791円

	[2024年11月21日から 2024年12月20日まで の計算期間]	[2025年5月21日から 2025年6月20日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	788,693円	679,582円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	0円	0円
収益調整金額	56,728,727円	54,363,801円
分配準備積立金額	114,136,799円	98,761,345円
当ファンドの分配対象収益額	171,654,219円	153,804,728円
当ファンドの期末残存口数	352,435,107口	327,765,641口
1万口当たり収益分配対象額	4,870.51円	4,692.52円
1万口当たり分配金額	150.00円	30.00円
収益分配金金額	5,286,526円	983,296円
	[2024年12月21日から 2025年 1月20日まで の計算期間]	[2025年6月21日から 2025年7月22日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	1,205,107円	1,171,093円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	0円	0円
収益調整金額	55,995,113円	54,579,162円
分配準備積立金額	106,321,337円	98,357,175円
当ファンドの分配対象収益額	163,521,557円	154,107,430円
当ファンドの期末残存口数	343,843,156口	328,009,462口
1万口当たり収益分配対象額	4,755.70円	4,698.26円
1万口当たり分配金額	30.00円	30.00円
収益分配金金額	1,031,529円	984,028円
	[2025年1月21日から 2025年2月20日まで の計算期間]	[2025年7月23日から 2025年8月20日まで の計算期間]
費用控除後の配当等収益額	0円	0円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	0円	0円
収益調整金額	55,966,202円	54,742,819円
分配準備積立金額	105,869,715円	97,055,534円
当ファンドの分配対象収益額	161,835,917円	151,798,353円
当ファンドの期末残存口数	342,458,445口	325,170,134口
1万口当たり収益分配対象額	4,725.70円	4,668.27円
1万口当たり分配金額	30.00円	30.00円
収益分配金金額	1,027,375円	975,510円

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

項目	第42特定期間 自 2024年8月21日 至 2025年2月20日	第43特定期間 自 2025年2月21日 至 2025年8月20日
----	---	---

1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、投資信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対する投資として運用することを目的としています。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する主な金融資産は、親投資信託受益証券、金銭債権及びデリバティブ取引により生じる正味の債権等であり、金融負債は、金銭債務及びデリバティブ取引により生じる正味の債務等であります。当該金融商品は、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスク及び流動性リスクがあります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<ul style="list-style-type: none">・運用業務部において運用実績の分析・評価を行い、運用評価委員会に上程します。・法務コンプライアンス部において運用業務の考査および諸法令等の遵守状況に関する監理を行い、必要に応じて指導、勧告を行うとともに、内部統制委員会に報告します。・運用評価委員会および内部統制委員会において、パフォーマンス評価と法令等の遵守状況の審査が行われます。	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	第42特定期間 (2025年2月20日現在)	第43特定期間 (2025年8月20日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありませ	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左
4. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額	貸借対照表に計上している金銭債権は、その全額が1年以内に償還されます。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	第42特定期間 (2025年2月20日現在)	第43特定期間 (2025年8月20日現在)
	最終の計算期間の損益 に含まれた評価差額	最終の計算期間の損益 に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	2,423,750	198,557
合計	2,423,750	198,557

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

項目	第42特定期間 (2025年2月20日現在)	第43特定期間 (2025年8月20日現在)
1口当たり純資産額	1.1242円	1.0435円
(1万口当たり純資産額)	(11,242円)	(10,435円)

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表（2025年8月20日現在）

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
日本円	親投資信託 受益証券	パインブリッジ米国REITマザーファンド	43,164,763	338,761,376	
合計			43,164,763	338,761,376	

(注) 親投資信託受益証券における券面総額の数値は証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

[次へ](#)

（参考）

当ファンドは「パインブリッジ米国REITマザーファンド」の受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券です。
なお、同マザーファンドの状況は次の通りです。

「パインブリッジ米国REITマザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外です。

(1)貸借対照表

区分	注記 事項	(2025年2月20日現在)	(2025年8月20日現在)
		金額（円）	金額（円）
資産の部			
流動資産			
預金		2,822,901	1,622,459
コール・ローン		5,765,401	4,528,468
投資証券		466,738,066	412,899,059
未収入金		-	614,227
未収配当金		151,753	246,434
未収利息		71	55
流動資産合計		475,478,192	419,910,702
資産合計		475,478,192	419,910,702
負債の部			
流動負債			
未払金		-	350,556
未払解約金		-	1,000,000
流動負債合計		-	1,350,556
負債合計		-	1,350,556
純資産の部			
元本等			
元本		57,769,104	53,332,573
剰余金			
剰余金又は欠損金（　）		417,709,088	365,227,573
元本等合計		475,478,192	418,560,146
純資産合計		475,478,192	418,560,146
負債純資産合計		475,478,192	419,910,702

(注)親投資信託の計算期間は、原則として、毎年2月21日から8月20日まで、および8月21日から翌年2月20日までであります。

(2)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等の最終相場を、計算期間末日に最終相場がない場合には、直近の日の最終相場で、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。 時価が市場で取得できない場合は、価格情報会社または金融商品取引業者・銀行等の提示する価額で評価します。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、我が国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

項目	(2025年2月20日現在)	(2025年8月20日現在)
1. 期首元本額	63,258,439円	57,769,104円
期中追加設定元本額	1,369,122円	626,735円
期中一部解約元本額	6,858,457円	5,063,266円
元本の内訳		
ファンド名		
パインブリッジ米国REITインカムファンド Aコース（為替ヘッジあり）	11,068,746円	10,167,810円
パインブリッジ米国REITインカムファンド Bコース（為替ヘッジなし）	46,700,358円	43,164,763円
合計	57,769,104円	53,332,573円
2. 受益権の総数	57,769,104口	53,332,573口

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

項目	自 2024年8月21日 至 2025年2月20日	自 2025年2月21日 至 2025年8月20日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、投資信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対する投資として運用することを目的としています。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する主な金融資産は、投資証券、金銭債権及びデリバティブ取引により生じる正味の債権等であり、金融負債は、金銭債務及びデリバティブ取引により生じる正味の債務等であります。 当該金融商品は、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク等の市場リスク、信用リスク及び流動性リスクがあります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・運用業務部において運用実績の分析・評価を行い、運用評価委員会に上程します。 ・法務コンプライアンス部において運用業務の考査および諸法令等の遵守状況に関する監理を行い、必要に応じて指導、勧告を行うとともに、内部統制委員会に報告します。 ・運用評価委員会および内部統制委員会において、パフォーマンス評価と法令等の遵守状況の審査が行われます。 	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	(2025年2月20日現在)	(2025年8月20日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左
4. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額	貸借対照表に計上している金銭債権は、その全額が1年以内に償還されます。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	(2025年2月20日現在)	(2025年8月20日現在)
	当計算期間の損益に含まれた評価差額	当計算期間の損益に含まれた評価差額
投資証券	5,379,110	15,011,209
合計	5,379,110	15,011,209

(注) 当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当親投資信託の計算期間の開始日から本報告書における監査対象ファンドの特定期間末日までの期間に対応する金額であります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

項目	(2025年2月20日現在)	(2025年8月20日現在)
1口当たり純資産額	8.2307円	7.8481円
(1万口当たり純資産額)	(82,307円)	(78,481円)

(3)附属明細表

第1 有価証券明細表（2025年8月20日現在）

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
米国ドル	投資証券	AGREE REALTY CORP	850	62,458.00	
		ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES INC	216	16,906.32	
		AMERICAN HEALTHCARE REIT INC	880	35,965.60	
		AMERICAN HOMES 4 RENT- A	1,310	45,823.80	
		AMERICOLD REALTY TRUST INC	953	14,028.16	
		APPLE HOSPITALITY REIT INC	470	5,828.00	
		BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	2,790	75,357.90	
		BROADSTONE NET LEASE INC	1,567	26,811.37	
		BXP INC	520	34,772.40	
		CAMDEN PROPERTY TRUST	782	84,674.96	
		COUSINS PROPERTIES INC	1,570	43,865.80	
		CUBESMART	220	8,791.20	
		DIAMONDROCK HOSPITALITY CO	2,300	18,607.00	
		DIGITAL REALTY TRUST INC	905	150,745.85	
		DOUGLAS EMMETT INC	490	7,364.70	
		ELME COMMUNITIES	370	6,245.60	
		EMPIRE STATE REALTY TRUST-A	1,380	10,281.00	
		EQUINIX INC	270	208,834.20	
		EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	340	20,648.20	
		EQUITY RESIDENTIAL	860	55,418.40	
		ESSEX PROPERTY TRUST INC	105	27,547.80	
		EXTRA SPACE STORAGE INC	790	110,173.40	
		FEDERAL REALTY INVS TRUST	385	37,229.50	
		FIRST INDUSTRIAL REALTY TR	630	31,871.70	
		HEALTHCARE REALTY TRUST INC	1,360	22,399.20	
		HEALTHPEAK PROPERTIES INC	4,248	73,150.56	
		HOST HOTELS AND RESORTS INC	3,250	52,422.50	
		HUDSON PACIFIC PROPERTIES IN	1,168	3,141.92	
		INDEPENDENCE REALTY TRUST IN	720	12,535.20	
		INVENTRUST PROPERTIES CORP	150	4,282.50	
		INVITATION HOMES INC	1,730	52,765.00	
		IRON MOUNTAIN INC	711	65,099.16	
		KIMCO REALTY CORP	3,470	75,299.00	
		KITE REALTY GROUP TRUST	2,160	47,865.60	
		LINEAGE INC	289	11,565.78	
		MACERICH CO/THE	988	17,171.44	
		NATIONAL STORAGE AFFILIATES	24	747.60	
		NATL HEALTH INVESTORS INC	350	26,645.50	

	NETSTREIT CORP	1,380	25,833.60	
	NNN REIT INC	461	19,186.82	
	OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	1,160	47,873.20	
	PROLOGIS INC	1,895	209,890.20	
	PUBLIC STORAGE	350	100,572.50	
	REALTY INCOME CORP	1,600	94,416.00	
	REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	1,080	42,606.00	
	SIMON PROPERTY GROUP INC	510	89,188.80	
	SUNSTONE HOTEL INVESTORS INC	666	6,047.28	
	UDR INC	2,470	96,008.90	
	VENTAS INC	1,900	129,124.00	
	VICI PROPERTIES INC	1,630	52,926.10	
	VORNADO REALTY TRUST	1,000	37,130.00	
	WELLTOWER INC	1,460	238,812.20	
小計		59,133	2,794,957.42	
			(412,899,059)	
合計			412,899,059	
			(412,899,059)	

(注)1.投資証券における券面総額の数値は証券数を表示しております。

2.通貨種類毎の小計欄の（ ）内は、邦貨換算額であります。

3.合計欄の記載は邦貨額であり、（ ）内は外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

4.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米国ドル	投資証券 52銘柄	100.0%	100.0%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

《1》パインブリッジ米国REITインカムファンドAコース（為替ヘッジあり）

（2025年9月30日現在）

資産総額	83,460,142 円
負債総額	1,779,456 円
純資産総額（ - ）	81,680,686 円
発行済数量	112,496,664 口
1口当たり純資産額（ / ）	0.7261 円
（1万口当たりの純資産額）	（7,261 円）

（注） の資産には、有価証券の評価損益が含まれています。（以下、同じ。）

《2》パインブリッジ米国REITインカムファンドBコース（為替ヘッジなし）

（2025年9月30日現在）

資産総額	342,611,041 円
負債総額	741,135 円
純資産総額（ - ）	341,869,906 円
発行済数量	318,507,877 口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0733 円
（1万口当たりの純資産額）	（10,733 円）

（ご参考）パインブリッジ米国REITマザーファンド

（2025年9月30日現在）

資産総額	423,202,604 円
負債総額	1,523,029 円
純資産総額（ - ）	421,679,575 円
発行済数量	51,980,956 口
1口当たり純資産額（ / ）	8.1122 円
（1万口当たりの純資産額）	（81,122 円）

第三部【委託会社等の情報】**第1【委託会社等の概況】****1【委託会社等の概況】**

[訂正前]

(2025年3月末日現在)

[訂正後]

(2025年9月末日現在)

2【事業の内容及び営業の概況】

[訂正前]

委託会社の運用する証券投資信託は、2025年3月末日現在、次の通りです。（ただし、親投資信託を除きます。）

種類	本数	純資産総額
単位型株式投資信託	<u>9</u>	<u>23,360</u> 百万円
追加型株式投資信託	48	<u>425,632</u> 百万円
合計	<u>57</u>	<u>448,992</u> 百万円

[訂正後]

委託会社の運用する証券投資信託は、2025年9月末日現在、次の通りです。（ただし、親投資信託を除きます。）

種類	本数	純資産総額
単位型株式投資信託	<u>8</u>	<u>18,989</u> 百万円
追加型株式投資信託	48	<u>423,456</u> 百万円
合計	<u>56</u>	<u>442,445</u> 百万円

3【委託会社等の経理状況】

原届出書「第三部 委託会社等の情報 3 委託会社等の経理状況」について、以下の内容に更新・訂正いたします。

[更新・訂正後]

- 1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づき作成しております。
当社の中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第282条及び第306条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づき作成しております。
- 2．記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
- 3．当社は、第40期事業年度（2024年1月1日から2024年12月31日まで）の財務諸表について、金融商品取引法第193条の2第1項の規定により、EY新日本有限責任監査法人により監査を受けております。
また、第41期事業年度に係る中間会計期間（2025年1月1日から2025年6月30日まで）の中間財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定により、EY新日本有限責任監査法人により中間監査を受けております。

1.財務諸表

(1)【貸借対照表】

（単位：千円）

	第39期 (2023年12月31日現在)	第40期 (2024年12月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	455,617	564,882
短期貸付金	524,000	524,000
前払金	1,380	1,061
前払費用	30,243	29,290
未収入金	90,057	126,642
未収委託者報酬	741,397	720,973
未収運用受託報酬	97,943	107,368
立替金	12,351	1,844
未収収益	549	1,804
流動資産合計	1,953,541	2,077,867
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	*1 77,100	*1 71,364
工具器具備品	*1 7,195	*1 10,983
有形固定資産合計	84,296	82,347
無形固定資産		
ソフトウェア	0	161
電話加入権	0	0
無形固定資産合計	0	161
投資その他の資産		
関係会社株式	164,013	164,013
敷金保証金	42,245	42,245
預託金	74	-
繰延税金資産	124,311	101,951
投資その他の資産合計	330,645	308,211
固定資産合計	414,942	390,720
資産合計	2,368,483	2,468,587

（単位:千円）

	第39期 （2023年12月31日現在）	第40期 （2024年12月31日現在）
負債の部		
流動負債		
預り金	24,682	22,725
未払金		
未払収益分配金	240	240
未払手数料	321,212	310,489
その他未払金	115,210	200,750
未払費用	464,080	493,922
未払役員賞与	103,430	34,369
未払法人税等	16,143	21,640
未払消費税等	35,103	40,310
リース債務	772	-
流動負債合計	1,080,877	1,124,449
固定負債		
賞与引当金	129,538	114,717
役員賞与引当金	30,762	30,327
退職給付引当金	101,580	108,306
役員退職慰労引当金	7,300	8,080
固定負債合計	269,181	261,431
負債合計	1,350,058	1,385,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金		
資本準備金	58,876	58,876
資本剰余金合計	58,876	58,876
利益剰余金		
利益準備金	265,112	265,112
その他利益剰余金		
任意積立金	230,000	230,000
繰越利益剰余金	535,563	471,282
利益剰余金合計	40,451	23,830
株主資本合計	1,018,425	1,082,706
純資産合計	1,018,425	1,082,706
負債・純資産合計	2,368,483	2,468,587

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第39期 (自 2023年 1月 1日 至 2023年12月31日)	第40期 (自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日)
営業収益		
委託者報酬	3,911,220	4,312,754
運用受託報酬	596,432	349,069
その他営業収益	214,295	234,339
営業収益合計	4,721,948	4,896,162
営業費用		
支払手数料	1,780,078	1,987,610
広告宣伝費	6,097	4,707
調査費		
調査費	648,545	610,638
委託調査費	888,510	872,855
営業雑経費		
通信費	14,140	11,222
印刷費	34,426	29,759
協会費	4,311	4,054
図書費	1,334	1,320
営業費用合計	3,377,444	3,522,170
一般管理費		
給料		
役員報酬	38,600	38,600
給料・手当	585,813	627,588
賞与	227,740	166,237
役員賞与	90,104	43,477
賞与引当金繰入	31,487	17,258
役員賞与引当金繰入	8,085	5,535
交際費	1,929	3,537
寄付金	1,996	-
旅費交通費	7,293	8,186
租税公課	23,678	27,750
不動産賃借料	145,726	81,329
退職給付費用	32,710	36,150
役員退職慰労引当金繰入	780	780
固定資産減価償却費	6,199	10,696
業務委託費	138,633	163,895
諸経費	36,909	34,069
一般管理費合計	1,377,688	1,265,093
営業利益又は営業損失（ ）	33,185	108,899

営業外収益		
受取利息	5,675	6,916
営業外収益合計	5,675	6,916
営業外費用		
為替差損	11,821	20,420
支払利息	75	61
投資有価証券償還損	204	-
営業外費用合計	12,100	20,482
経常利益又は経常損失（　）	39,610	95,334
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（　）	39,610	95,334
法人税、住民税及び事業税	12,908	8,693
法人税等調整額	46,357	22,359
法人税等合計	33,449	31,053
当期純利益又は当期純損失（　）	6,161	64,281

(3)【株主資本等変動計算書】

第39期（自 2023年1月 1日 至 2023年12月31日）

（単位:千円）

	株 主 資 本								評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金			株主資本合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・換 算差額等 合計		
		資本準備金	資本剰 余金合 計	利益準備金	その他利益剰余金					利益剰 余金合 計	
					任意積 立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	1,000,000	58,876	58,876	265,112	230,000	529,402	34,290	1,024,586	446	446	1,024,140
当期変動額											
当期純損失()	-	-	-	-	-	6,161	6,161	6,161	-	-	6,161
株主資本以外の 項目の当期間中の 変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	446	446	446
当期変動額合計	-	-	-	-	-	6,161	6,161	6,161	446	446	5,714
当期末残高	1,000,000	58,876	58,876	265,112	230,000	535,563	40,451	1,018,425	-	-	1,018,425

第40期（自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日）

（単位:千円）

	株 主 資 本								純資産 合計
	資本金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金				株主資本 合計	
		資本準 備金	資本剰余 金合計	利益準 備金	その他利益剰余金		利益剰余 金合計		
					任意積 立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	1,000,000	58,876	58,876	265,112	230,000	535,563	40,451	1,018,425	1,018,425
当期変動額									
当期純利益	-	-	-	-	-	64,281	64,281	64,281	64,281
当期変動額合計	-	-	-	-	-	64,281	64,281	64,281	64,281
当期末残高	1,000,000	58,876	58,876	265,112	230,000	471,282	23,830	1,082,706	1,082,706

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	(1)子会社株式 移動平均法による原価法
2. 固定資産の減価償却の方法	(1)有形固定資産(リース資産を除く) 建物附属設備及び工具器具備品は定率法によっております。主な耐用年数は、建物附属設備5～15年、工具器具備品は5～15年であります。ただし2016年4月1日以後に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。 (2)無形固定資産(リース資産を除く) ソフトウェア（自社利用分）については、定額法により、社内における利用可能期間（5年）で償却しております。 (3)リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

3. 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払いに充てるため、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員に支給する賞与の支払いに充てるため、役員賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付の支出に充てるため、内規に基づく当事業年度末現在の退職給付要支給額を計上しております。退職給付引当金の算定にあたり、期末自己都合退職金要支給額を退職給付引当金とする簡便法を採用しております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に充てるため、内規に基づく当事業年度末現在の役員退職慰労金要支給額を計上しております。</p>
4. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準	<p>外貨建資産及び負債は、主として当事業年度末現在の直物為替相場による円換算額を付しております。</p>
5. 収益及び費用の計上基準	<p>当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬、その他営業収益を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。</p> <p>委託者報酬 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>運用受託報酬 運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき契約期間の純資産総額等に対する一定割合として認識され、確定した報酬を顧客口座によって主に年2回、もしくは年1回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧客口座の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>その他営業収益 運用受託報酬以外でグループ会社に提供したサービスにより受領する収益は、グループ会社との契約に定められた支払い条件及び算式に基づき、関連する投資対象に応じて、資金投入時点もしくはサービスを提供する期間にわたり時間の経過に応じて収益を認識しております。</p> <p>成功報酬 成功報酬は、対象となる投資信託または顧客口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。</p>

未適用の会計基準等

- ・「リースに関する会計基準」（企業会計基準第34号 2024年9月13日 企業会計基準委員会）
 - ・「リースに関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日 企業会計基準委員会）等
- (1) 概要

企業会計基準委員会において、日本基準を国際的に整合性のあるものとする取組みの一環として、借手の全てのリースについて資産及び負債を認識するリースに関する会計基準の開発に向けて、国際的な会計基準を踏まえた検討が行われ、基本的な方針として、IFRS第16号の単一の会計処理モデルを基礎とするものの、IFRS第16号の全ての定めを採り入れるのではなく、主要な定めのみを採り入れることにより、簡素で利便性が高く、かつ、IFRS第16号の定めを個別財務諸表に用いても、基本的に修正が不要となることを目指したリース会計基準等が公表されました。

借手の会計処理として、借手のリースの費用配分の方法については、IFRS第16号と同様に、リースがファイナンス・リースであるかオペレーティング・リースであるかにかかわらず、全てのリースについて使用権資産に係る減価償却費及びリース負債に係る利息相当額を計上する単一の会計処理モデルが適用されます。

(2) 適用予定日

2028年12月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「リースに関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

注記事項

（貸借対照表関係）

第39期 2023年12月31日現在	第40期 2024年12月31日現在
*1 有形固定資産の減価償却累計額	*1 有形固定資産の減価償却累計額
建物附属設備 56,494千円	建物附属設備 62,231千円
工具器具備品 21,731千円	工具器具備品 26,611千円
リース資産 2,284千円	
上記減価償却累計額には、有形固定資産の減損損失累計額が含まれております。	上記減価償却累計額には、有形固定資産の減損損失累計額が含まれております。

（株主資本等変動計算書関係）

第39期（自2023年1月1日 至2023年12月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
普通株式	42,000 株	-	-	42,000 株

2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

該当事項はありません。

第40期（自2024年1月1日 至2024年12月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
普通株式	42,000 株	-	-	42,000 株

2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

該当事項はありません。

(リース取引関係)

第39期 自 2023年 1月 1日 至 2023年12月31日	第40期 自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日
<p>ファイナンス・リース取引 所有権移転外ファイナンス・リース取引</p> <p>リース資産の内容</p> <p>・有形固定資産 主として、本社における複合機(工具器具備品)であります。</p> <p>リース資産の減価償却の方法</p> <p>重要な会計方針「2. 固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。</p> <p>オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料</p> <p>該当事項はありません。</p>	<p>該当事項はありません。</p>

(金融商品関係)

第39期（自 2023年1月 1日 至 2023年12月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は資金運用について短期的な預金及びグループ会社への貸付金に限定しております。

又、当社業務に関する所要資金は自己資金で賄っており、銀行借り入れ、社債発行等による資金調達は行わない方針ですが、子会社への増資がある場合には、所要資金を当社親会社からの借入金により充当することがあります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金は銀行の信用リスクに晒されております。営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬、未収入金については、顧客の信用リスクに晒されております。未収入金及びその他未払金の一部には、海外の関連会社との取引により生じた外貨建ての資産・負債を保有しているため、為替相場の変動による市場リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

預金に係る銀行の信用リスクに関しては、口座開設時及びその後も継続的に銀行の信用力を評価し、格付けの高い金融機関に係る銀行のみで運用し、預金に係る信用リスクを管理しております。未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、投資信託又は取引相手毎に残高を管理し、当社が運用している資産の中から報酬を徴収するため、信用リスクは僅少であります。又、未収入金は概ね海外の関連会社との取引により生じたものであり、定期的に決済が行われる事により、回収が不能となるリスクは僅少であります。

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

当社は原則、為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての債権債務に関する為替の変動リスクについては、個別の案件毎に毎月残高照合等を行い、リスクを管理しております。

流動性リスク（支払期日に支払を実行出来なくなるリスク）の管理

当社は日々資金残高管理を行っております。又、月次で資金繰り予定表を作成・更新するとともに、手元流動性(最低限必要な運転資金)を状況に応じて見直し・維持する事等により、流動性リスクを管理しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2023年12月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、記載すべき事項はございません。また、現金・預金、短期貸付金、未収入金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収収益、未払手数料、その他未払金、未払費用等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しております。子会社株式（貸借対照表計上額164,013千円）は市場価格のない株式等に該当するため、注記を省略しております。

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

該当事項はありません。

(2) 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

該当事項はありません。

第40期（自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は資金運用について短期的な預金及びグループ会社への貸付金に限定しております。

又、当社業務に関する所要資金は自己資金で賄っており、銀行借り入れ、社債発行等による資金調達は行わない方針ですが、子会社への増資がある場合には、所要資金を当社親会社からの借入金により充当することがあります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金は銀行の信用リスクに晒されております。営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬、未収入金については、顧客の信用リスクに晒されております。未収入金及びその他未払金の一部には、海外の関連会社との取引により生じた外貨建ての資産・負債を保有しているため、為替相場の変動による市場リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

預金に係る銀行の信用リスクに関しては、口座開設時及びその後も継続的に銀行の信用力を評価し、格付けの高い金融機関に係る銀行のみで運用し、預金に係る信用リスクを管理しております。未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、投資信託又は取引相手毎に残高を管理し、当社が運用している資産の中から報酬を徴収するため、信用リスクは僅少であります。又、未収入金は概ね海外の関連会社との取引により生じたものであり、定期的に決済が行われる事により、回収が不能となるリスクは僅少であります。

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

当社は原則、為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての債権債務に関する為替の変動リスクについては、個別の案件毎に毎月残高照合等を行い、リスクを管理しております。

流動性リスク（支払期日に支払を実行出来なくなるリスク）の管理

当社は日々資金残高管理を行っております。又、月次で資金繰り予定表を作成・更新するとともに、手元流動性(最低限必要な運転資金)を状況に応じて見直し・維持する事等により、流動性リスクを管理しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2024年12月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、記載すべき事項はございません。また、現金・預金、短期貸付金、未収入金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収収益、未払手数料、その他未払金、未払費用等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しております。子会社株式（貸借対照表計上額164,013千円）は市場価格のない株式等に該当するため、注記を省略しております。

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

該当事項はありません。

(2) 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

該当事項はありません。

（有価証券関係）

第39期（2023年12月31日現在）

子会社株式

（単位：千円）

区分	貸借対照表計上額
子会社株式	164,013

上記については、市場価格のない株式等に該当しております。

第40期（2024年12月31日現在）

子会社株式

（単位：千円）

区分	貸借対照表計上額
子会社株式	164,013

上記については、市場価格のない株式等に該当しております。

（退職給付関係）

第39期（2023年12月31日現在）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、確定拠出年金制度および非積立型の退職一時金制度を採用しております。

退職一時金制度では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1)簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

	千円
期首における退職給付引当金	93,987
退職給付費用	10,575
退職給付の支払額	2,982
期末における退職給付引当金	101,580

(2)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	千円
非積立型制度の退職給付債務	101,580
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	101,580
退職給付引当金	101,580
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	101,580

(3)退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	10,575千円
----------------	----------

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、22,135千円でありました。

第40期（2024年12月31日現在）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、確定拠出年金制度および非積立型の退職一時金制度を採用しております。

退職一時金制度では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1)簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

	千円
期首における退職給付引当金	101,580
退職給付費用	12,742
退職給付の支払額	6,017
期末における退職給付引当金	108,306

(2)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金
及び前払年金費用の調整表

	千円
非積立型制度の退職給付債務	108,306
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	108,306
退職給付引当金	108,306
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	108,306
(3)退職給付費用	
簡便法で計算した退職給付費用	12,742千円

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、23,407千円でありました。

(税効果会計関係)

第39期
2023年12月31日現在

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

繰延税金資産 (単位：千円)

税務上の繰越欠損金（注）2	190,078
未払金否認	21,452
未払賞与・賞与引当金否認	122,028
退職給付引当金否認	31,103
役員退職慰労引当金否認	2,235
減損損失	4,681
資産除去債務	11,544
その他	21,250
繰延税金資産小計	404,374
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額（注）2	182,479
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	97,583
評価性引当額小計（注）1	280,063
繰延税金資産合計	124,311
繰延税金資産の純額	124,311

（注）1 評価性引当額が56,834千円減少しております。これは、将来課税所得の見積額が増加したことに伴い、将来減算一時差異等及び税務上の繰越欠損金の回収可能額が増加したことなどによるものであります。

（注）2 税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額

(単位：千円)

	1年以内	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内	5年超	合計
税務上の繰越欠損金（*1）	-	80,202	57,567	-	-	52,308	190,078

評価性引当額	-	72,603	57,567	-	-	52,308	182,479
繰延税金資産	-	7,598	-	-	-	-	7,598

（*1）税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

税引前当期純損失であるため、注記を省略しております。

第40期
2024年12月31日現在

1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

繰延税金資産 (単位：千円)

税務上の繰越欠損金（注）2	184,552
未払金否認	14,776
未払賞与・賞与引当金否認	93,417
退職給付引当金否認	33,163
役員退職慰労引当金否認	2,474
減損損失	3,160
資産除去債務	11,544
その他	21,340
繰延税金資産小計	364,430
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額（注）2	177,462
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	85,016
評価性引当額小計（注）1	262,478
繰延税金資産合計	101,951
繰延税金資産の純額	101,951

（注）1 評価性引当額が17,584千円減少しております。これは、将来課税所得の見積額が増加したことに伴い、将来減算一時差異等及び税務上の繰越欠損金の回収可能額が増加したことなどによるものであります。

（注）2 税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額

(単位：千円)

	1年以内	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内	5年超	合計
税務上の繰越欠損金（*1）	74,676	57,567	-	-	52,308	-	184,552
評価性引当額	67,585	57,567	-	-	52,308	-	177,462
繰延税金資産	7,090	-	-	-	-	-	7,090

（*1）税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

法定実効税率	30.6%
（調整）	
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.6%
役員賞与等永久に損金に算入されない項目	15.7%

住民税均等割	2.6%
評価性引当額	18.4%
その他	1.5%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	32.6%

（収益認識関係）

第39期

自 2023年 1月 1日

至 2023年12月31日

1. 収益の分解情報

当事業年度の収益の構成は次のとおりです。

委託者報酬	3,911,220千円
運用受託報酬	570,197千円
その他営業収益	214,295千円
成功報酬（注）	26,235千円
合計	4,721,948千円

（注）成功報酬は、損益計算書において運用受託報酬に含めて表示しております。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

〔重要な会計方針〕5. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

第40期

自 2024年 1月 1日

至 2024年12月31日

1. 収益の分解情報

当事業年度の収益の構成は次のとおりです。

委託者報酬	4,312,754千円
運用受託報酬	311,617千円
その他営業収益	234,339千円
成功報酬（注）	37,451千円
合計	4,896,162千円

（注）成功報酬は、損益計算書において運用受託報酬に含めて表示しております。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

〔重要な会計方針〕5. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（セグメント情報等）

第39期
自 2023年 1月 1日
至 2023年12月31日

1. セグメント情報

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

2. 関連情報

（１）製品及びサービス毎の情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	その他営業収益
外部顧客への営業収益	3,911,220	596,432	214,295

（２）地域毎の情報

営業収益

（単位：千円）

日本	米国	欧州	アジア	合計
4,373,287	164,074	172,606	11,980	4,721,948

（注）営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域毎の有形固定資産の記載を省略しております。

（３）主要な顧客毎の情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

3. セグメント毎の固定資産の減損損失に関する情報

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

第40期
自 2024年 1月 1日
至 2024年12月31日

1. セグメント情報

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

2. 関連情報

（１）製品及びサービス毎の情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	その他営業収益
外部顧客への営業収益	4,312,754	349,069	234,339

(2) 地域毎の情報

営業収益

(単位：千円)

日本	米国	欧州	アジア	合計
4,551,167	177,259	154,949	12,785	4,896,162

(注) 営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域毎の有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客毎の情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

3. セグメント毎の固定資産の減損損失に関する情報

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

(関連当事者情報)

第39期（自2023年1月1日 至2023年12月31日）

1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社

属性	会社等の名称	住所	資本金	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
同一の親会社を持つ会社	パインブリッジ・インベストメンツ・ホールディングス US LLC	アメリカ、ニューヨーク州	千USドル 366,002	持株会社	-	あり	経営管理サービス契約	金銭の貸付 *6	千円 524,000	短期貸付金	千円 524,000
								受取利息 *6	千円 5,656	未収収益	千円 549
								役務提供に対する対価支払 *2	千円 153,160	その他未払金	千円 12,918
			千USドル						千円		千円

同一の親会社を持つ会社	パインブリッジ・インベストメンツ LLC	アメリカ、ニューヨーク州	2	投資運用会社			一任契約サービス契約	その他営業収益の受取 *5	137,712	未収入金	10,691
								委託調査費の支払 *4	千円 588,127	未払費用	千円 46,657
								調査費の支払 *7	千円 93,964	その他未払金	千円 16,397
								役務提供に対する対価受取 *3	千円 103,088	未収入金	千円 9,411
同一の親会社を持つ会社	パインブリッジ・インベストメンツ・アイルランド・リミテッド	アイルランド、ダブリン	千USドル 368	投資運用会社	-	あり	一任契約サービス契約	その他営業収益の受取 *5	千円 76,582	未収入金	千円 45,561
同一の親会社を持つ会社	パインブリッジ・インベストメンツ・アジア・リミテッド	ホンコン	千HKドル 222,061	投資運用会社	-	-	一任契約サービス契約	役務提供に対する対価支払 *2	千円 129,020	その他未払金	千円 15,124

（取引条件及び取引条件の決定方針等）

- *1上記の表における消費税の取り扱いについては、国内取引については損益計算書項目は税抜き、貸借対照表項目については税込みで表示しております。尚、海外取引は全て免税取引となっております。
- *2役務提供に対する対価支払は、サービス契約に基づくテクノロジーサービス費用、オペレーショナル・サポート費用等の当社負担額であります。尚、負担額については、当社と当社の親会社及び兄弟会社等のグループ会社との間で合意した合理的な計算根拠に基づいて決定しております。
- *3役務提供に対する対価受取は、サービス契約に基づくオペレーショナル・サポート費用、法務費用等の相手先への配賦額であります。尚、配賦額については、当社と当社の親会社及び兄弟会社等のグループ会社との間で合意した合理的な計算根拠に基づいて決定しております。
- *4委託調査費等の支払については、ファンドの運用資産の割合に応じた一定の比率により決定しております。
- *5その他営業収益の受取については、ファンドの運用資産の割合に応じた一定の比率により決定しております。
- *6金銭の貸付に係る利息は、市場金利を参考に決定しております。
- *7調査費の支払いについては、業者とのグローバル契約に係る費用の内弊社使用分を支払うものです。

2. 親会社又は重要な関連当事者に関する注記

（1）親会社情報

パインブリッジ・インベストメンツ・L.P.（金融商品取引所に上場しておりません）

パインブリッジ・インベストメンツ・ホールディングス・シンガポール・プライベート・リミテッド（金融商品取引所に上場しておりません）

（2）重要な関連会社の要約財務諸表

該当事項ありません。

第40期（自2024年1月1日 至2024年12月31日）

1. 関連当事者との取引

財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社

属性	会社等の名称	住所	資本金	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
同一の親会社を持つ会社	パインブリッジ・インベストメンツ・ホールディングス US LLC	アメリカ、ニューヨーク州	千USドル 313,597	持株会社	-	あり	経営管理サービス契約	金銭の貸付 *6	千円 524,000	短期貸付金	千円 524,000
								受取利息 *6	千円 6,902	未収収益	千円 1,804
								調査費の支払 *7	千円 81,155	その他未払金	千円 16,872
								役務提供に対する対価支払 *2	千円 196,396	その他未払金	千円 67,687
同一の親会社を持つ会社	パインブリッジ・インベストメンツ LLC	アメリカ、ニューヨーク州	千USドル 2	投資運用会社	-	あり	一任契約サービス契約	その他営業収益の受取 *5	千円 145,506	未収入金	千円 37,081
								委託調査費の支払 *4	千円 598,823	未払費用	千円 137,691
								調査費の支払 *7	千円 48,310	その他未払金	千円 18,983
								役務提供に対する対価受取 *3	千円 119,468	未収入金	千円 29,979
同一の親会社を持つ会社	パインブリッジ・インベストメンツ・ヨーロッパ・リミテッド	イギリス、ロンドン	千スターリングポンド 200	投資運用会社	-	あり	一任契約サービス契約	委託調査費の支払 *4	千円 79,944	未払費用	千円 18,934
同一の親会社を持つ会社	パインブリッジ・インベストメンツ・アジア・リミテッド	ホンコン	千HKドル 222,061	投資運用会社	-	-	一任契約サービス契約	役務提供に対する対価支払 *2	千円 115,548	その他未払金	千円 17,272

（取引条件及び取引条件の決定方針等）

- *1上記の表における消費税の取り扱いについては、国内取引については損益計算書項目は税抜き、貸借対照表項目については税込みで表示しております。尚、海外取引は全て免税取引となっております。
- *2役務提供に対する対価支払は、サービス契約に基づくテクノロジーサービス費用、オペレーショナル・サポート費用等の当社負担額であります。尚、負担額については、当社と当社の親会社及び兄弟会社等のグループ会社との間で合意した合理的な計算根拠に基づいて決定しております。
- *3役務提供に対する対価受取は、サービス契約に基づくオペレーショナル・サポート費用、法務費用等の相手先への配賦額であります。尚、配賦額については、当社と当社の親会社及び兄弟会社等のグループ会社との間で合意した合理的な計算根拠に基づいて決定しております。
- *4委託調査費等の支払については、ファンドの運用資産の割合に応じた一定の比率により決定しております。
- *5その他営業収益の受取については、ファンドの運用資産の割合に応じた一定の比率により決定しております。
- *6金銭の貸付に係る利息は、市場金利を参考に決定しております。
- *7調査費の支払いについては、業者とのグローバル契約に係る費用の内弊社使用分を支払うものです。

2. 親会社又は重要な関連当事者に関する注記

（1）親会社情報

パインブリッジ・インベストメンツ・L.P.（金融商品取引所に上場しておりません）

パインブリッジ・インベストメンツ・ホールディングス・シンガポール・プライベート・リミテッド（金融商品取引所に上場しておりません）

（2）重要な関連会社の要約財務諸表

該当事項ありません。

（1株当たり情報）

第39期 自 2023年 1月 1日 至 2023年12月31日		第40期 自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日	
1株当たり純資産額	24,248円22銭	1株当たり純資産額	25,778円73銭
1株当たり当期純損失金額	146円69銭	1株当たり当期純利益金額	1,530円50銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

（注）1株当たり当期純損失金額の算定の基礎は、以下のとおりであります。

（注）1株当たり当期純利益金額の算定の基礎は、以下のとおりであります。

第39期 自 2023年 1月 1日 至 2023年12月31日		第40期 自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日	
当期純損失	6,161 千円	当期純利益	64,281 千円
普通株主に帰属しない金額	-	普通株主に帰属しない金額	-
普通株主に係る当期純損失	6,161 千円	普通株主に係る当期純利益	64,281 千円
普通株式の期中平均株式数	42,000 株	普通株式の期中平均株式数	42,000 株

（重要な後発事象）

第39期 自 2023年 1月 1日 至 2023年12月31日		第40期 自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日	
該当事項はありません。		該当事項はありません。	

2. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

第41期中間会計期間末 (2025年6月30日現在)		
資産の部		
流動資産		
現金・預金		984,086
前払費用		29,116
未収入金		181,069
未収委託者報酬		632,210
未収運用受託報酬		89,287
立替金		1,391
流動資産合計		1,917,162
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	*1	68,496
工具器具備品	*1	9,041
有形固定資産合計		77,537
無形固定資産		
ソフトウェア		121
電話加入権		0
無形固定資産合計		121
投資その他の資産		
関係会社株式		164,013
敷金保証金		42,245
繰延税金資産		58,342
投資その他の資産合計		264,602
固定資産合計		342,261
資産合計		2,259,423

（単位:千円）

第41期中間会計期間末
（2025年6月30日現在）

負債の部

流動負債

預り金	22,322
未払収益分配金	240
未払手数料	274,519
その他未払金	190,177
未払費用	417,950
未払法人税等	9,739
未払消費税等	*2 9,658
賞与引当金	101,794
流動負債合計	1,026,402

固定負債

賞与引当金	117,144
退職給付引当金	107,256
役員退職慰労引当金	8,471
固定負債合計	232,872

負債合計	1,259,274
------	-----------

純資産の部

株主資本

資本金	1,000,000
資本剰余金	
資本準備金	58,876
資本剰余金合計	58,876

利益剰余金	
利益準備金	265,112
その他利益剰余金	
任意積立金	230,000
繰越利益剰余金	553,840
利益剰余金合計	58,728

株主資本合計	1,000,148
--------	-----------

純資産合計	1,000,148
-------	-----------

負債・純資産合計	2,259,423
----------	-----------

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

第41期 中間会計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)		
営業収益		
委託者報酬		1,870,790
運用受託報酬		149,306
その他営業収益		104,494
営業収益合計		2,124,591
営業費用及び一般管理費	*1	2,175,291
営業損失()		50,699
営業外収益		
受取利息		3,970
為替差益		8,734
営業外収益合計		12,705
営業外費用		
支払利息		0
営業外費用合計		0
経常損失()		37,994
税引前中間純損失()		37,994
法人税、住民税及び事業税		954
法人税等調整額		43,608
法人税等合計		44,563
中間純損失()		82,558

(3) 中間株主資本等変動計算書

第41期中間会計期間（自2025年1月1日 至2025年6月30日）

(単位:千円)

	株 主 資 本							純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利 益 剰 余 金			株主資本 合計		
		資本準 備金	資本剰余 金合計	利益準 備金	その他利益剰余金				利益剰余 金合計
					任意積 立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	1,000,000	58,876	58,876	265,112	230,000	471,282	23,830	1,082,706	1,082,706
当中間期変動額									
中間純損失（ ）	-	-	-	-	-	82,558	82,558	82,558	82,558
当中間期変動額合計	-	-	-	-	-	82,558	82,558	82,558	82,558
当中間期末残高	1,000,000	58,876	58,876	265,112	230,000	553,840	58,728	1,000,148	1,000,148

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	(1)子会社株式 移動平均法による原価法
2. 固定資産の減価償却の方法	(1)有形固定資産 建物附属設備及び工具器具備品は定率法によっております。主な耐用年数は、建物附属設備5～15年、工具器具備品は5～15年であります。ただし、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。 (2)無形固定資産 ソフトウェア（自社利用分）については、定額法により、社内における利用可能期間（5年）で償却しております。
3. 引当金の計上基準	(1)賞与引当金 従業員及び役員に支給する賞与の支払いに充てるため、賞与支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。 (2)退職給付引当金 従業員の退職給付の支出に充てるため、内規に基づく当中間会計期間末日現在の退職給付要支給額を計上しております。退職給付引当金の算定にあたり、当中間会計期間末日における自己都合退職金要支給額を退職給付引当金とする簡便法を採用しております。 (3)役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に充てるため、内規に基づく当中間会計期間末日現在の役員退職慰労金要支給額を計上しております。
4. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準	外貨建資産及び負債は、主として中間会計期間末日の直物為替相場による円換算額を付しております。

5. 収益及び費用の計上基準	<p>当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬、その他営業収益を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。</p> <p>委託者報酬</p> <p>委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>運用受託報酬</p> <p>運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき契約期間の純資産総額等に対する一定割合として認識され、確定した報酬を顧客口座によって主に年2回、もしくは年1回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧客口座の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>その他営業収益</p> <p>運用受託報酬以外でグループ会社に提供したサービスにより受領する収益は、グループ会社との契約に定められた支払い条件及び算式に基づき、関連する投資対象に応じて、資金投入時点もしくはサービスを提供する期間にわたり時間の経過に応じて収益を認識しております。</p> <p>成功報酬</p> <p>成功報酬は、対象となる投資信託または顧客口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。</p>
----------------	---

注記事項

（中間貸借対照表関係）

第41期 中間会計期間末 2025年6月30日現在	
*1. 有形固定資産の減価償却累計額	
建物附属設備	65,099 千円
工具器具備品	28,552 千円
上記減価償却累計額には、有形固定資産の減損損失累計額が含まれております。	
*2. 消費税等の取扱い	
仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺の上、未払消費税等として表示しております。	

（中間損益計算書関係）

第41期 中間会計期間 自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日	
*1. 減価償却実施額	
有形固定資産	4,810 千円
無形固定資産	40 千円

（中間株主資本等変動計算書関係）

第41期 中間会計期間 自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日				
1.発行済株式の種類及び総数に関する事項				
	当事業年度期首 株式数	当中間会計期間 増加株式数	当中間会計期間 減少株式数	当中間会計期間末 株式数
普通株式	42,000 株	-	-	42,000 株
2.自己株式に関する事項 該当事項はありません				
3.新株予約権等に関する事項 該当事項はありません				
4.配当に関する事項 該当事項はありません				

（金融商品関係）

第41期 中間会計期間末（2025年6月30日）

1. 金融商品の時価等に関する事項

2025年6月30日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、記載すべき事項はございません。また、現金・預金、未収入金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未払手数料、その他未払金、未払費用等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しております。子会社株式（中間貸借対照表計上額164,013千円）は市場価格のない株式等に該当するため、注記を省略しております。

2. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

（1）時価で中間貸借対照表に計上している金融商品

該当事項はありません。

（2）時価で中間貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

該当事項はありません。

（有価証券関係）

第41期 中間会計期間末 2025年6月30日現在	
子会社株式	
(単位：千円)	
区分	中間貸借対照表計上額

子会社株式

164,013

上記については、市場価格のない株式等に該当しております。

(収益認識関係)

第41期 中間会計期間

自 2025年1月 1日

至 2025年6月30日

1. 収益の分解情報

当中間会計期間の収益の構成は次のとおりです。

委託者報酬	1,870,790 千円
運用受託報酬	149,306 千円
その他営業収益	104,494 千円
合計	2,124,591 千円

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

[重要な会計方針] 5 . 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当中間会計期間末において存在する顧客との契約から当中間会計期間の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（セグメント情報等）

第41期 中間会計期間

自 2025年1月 1日

至 2025年6月30日

1. セグメント情報

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

（１）製品及びサービス毎の情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	その他営業収益
外部顧客への営業収益	1,870,790	149,306	104,494

（２）地域毎の情報

営業収益

（単位：千円）

日本	米国	欧州	アジア	合計
1,961,268	95,043	59,078	9,201	2,124,591

（注）営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

（３）主要な顧客毎の情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

3. セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

（１株当たり情報）

第41期 中間会計期間 自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日	
1株当たり純資産額	23,813円 6銭
1株当たり中間純損失	1,965円 66銭
（注）	
1. 当中間会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
2. 1株当たり中間純損失の算定の基礎は、以下のとおりであります。	
中間損益計算書上の中間純損失	82,558 千円
普通株式に係る中間純損失	82,558 千円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳	-
普通株式の期中平均株式数	42,000 株

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

[訂正前]

1) 受託会社

名称	資本金の額 2024年9月末日現在	事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

2) 販売会社

名称	資本金の額 2024年9月末日現在	事業の内容
株式会社大垣共立銀行	46,773百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでおります。
S M B C 日興証券株式会社	135,000百万円	
楽天証券株式会社	19,495百万円	
株式会社 S B I 証券	54,323百万円	
O K B 証券株式会社	1,500百万円	

[訂正後]

1) 受託会社

名称	資本金の額 2025年3月末日現在	事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

2) 販売会社

名称	資本金の額 2025年3月末日現在	事業の内容
株式会社大垣共立銀行	46,773百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでおります。
S M B C 日興証券株式会社	135,000百万円	
楽天証券株式会社	19,495百万円	
株式会社 S B I 証券	54,323百万円	
O K B 証券株式会社	1,500百万円	

参考情報

[訂正前]

再信託受託会社の概要（2024年9月末日現在）

[訂正後]

再信託受託会社の概要（2025年3月末日現在）

独立監査人の監査報告書

2025年3月24日

パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 丘 本 正 彦
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているパインブリッジ・インベストメンツ株式会社の2024年1月1日から2024年12月31日までの第40期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社の2024年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸

表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 財務諸表に対する意見表明の基礎となる、財務諸表に含まれる構成単位の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手するために、財務諸表の監査を計画し実施する。監査人は、構成単位の財務情報の監査に関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２．XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2025年11月7日

パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 水永 真太郎
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているパインブリッジ米国REITインカムファンドAコース（為替ヘッジあり）の2025年2月21日から2025年8月20日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、パインブリッジ米国REITインカムファンドAコース（為替ヘッジあり）の2025年8月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

パインブリッジ・インベストメンツ株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2 . X B R L データは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2025年11月7日

パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 水永 真太郎
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているパインブリッジ米国REITインカムファンドBコース（為替ヘッジなし）の2025年2月21日から2025年8月20日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、パインブリッジ米国REITインカムファンドBコース（為替ヘッジなし）の2025年8月20日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

パインブリッジ・インベストメンツ株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2 . X B R L データは監査の対象には含まれていません。

[前へ](#) [次へ](#)

独 立 監 査 人 の 中 間 監 査 報 告 書

2025年9月24日

パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 水永 真太郎
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているパインブリッジ・インベストメンツ株式会社の2025年1月1日から2025年12月31日までの第41期事業年度の中間会計期間（2025年1月1日から2025年6月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社の2025年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2025年1月1日から2025年6月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
 - ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
 - ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。
 - ・ 中間財務諸表に対する意見表明の基礎となる、中間財務諸表に含まれる構成単位の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手するために、中間財務諸表の中間監査を計画し実施する。監査人は、構成単位の財務情報の中間監査に関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で中間監査意見に対して責任を負う。
- 監査人は、監査役に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1．上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2．X B R L データは中間監査の対象には含まれていません。

[前へ](#)